ONKYO

HD メディアコンピューター

HDC-7

取扱説明書

基本編

本取扱説明書では、HDC-7の接続方法とMedia Centerを活用していただくための初期設定方法を説明いたします。

はじめに 2

接続をする 22

電源を入れる 32

初期設定をする 33

スタンバイにする/電源を切る 38

応用設定をする 39

システム・リカバリ 43

困ったときは 45

主な仕様 49

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

HDC-7(Cover)(SN293442221) 1 06.4.13, 2:56 PM
ブラック

主な特長

HDC-7は、Windows® XP Media Center OSを搭載し、通常のWindows® XPの機能に加え、以下の機能すべてを1台で行うことができます。

■地上アナログテレビの受信や録画 <マイ テレビ>

■FMラジオの受信 <ラジオ>

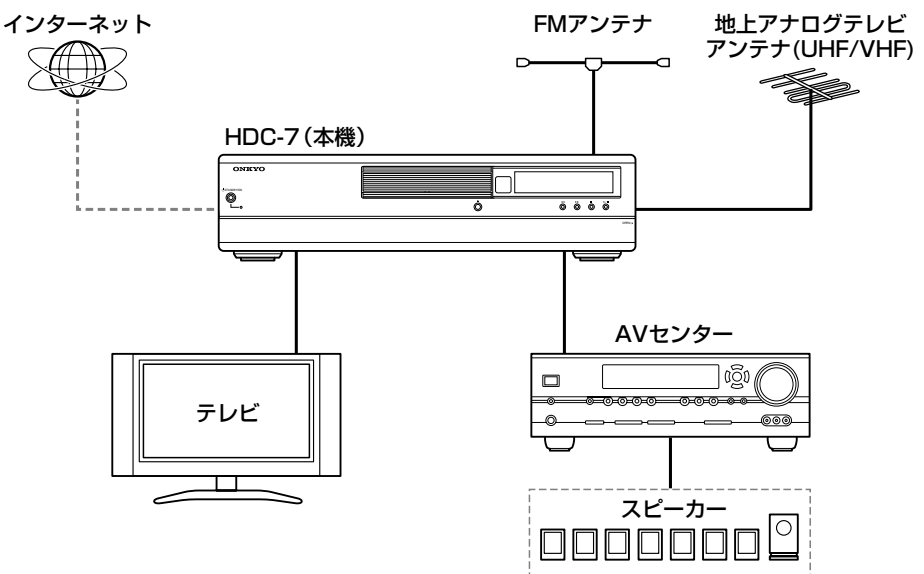
■DVDの再生や作成 <DVDの再生>
CyberLink PowerDVD搭載でDVDオーディオディスクの再生も可能 <DVD Audio>

■CDの再生や作成 <マイ ミュージック>

■動画の再生 <マイ ビデオ>
NeroVision Express 3搭載で編集も可能

■画像の表示 <マイ ピクチャ>

システム環境



HDC-7(02-04)(SN29344221) 2 06.4.13, 2:57 PM
ブラック

■Windows® XP Media Center Edition 2005 operating system 日本語版OS

■インテル® Viivテクノロジー搭載

■インテル® High Definition Audio 準拠（最大192kHz/24ビット）
MIDI再生機能（OS標準）、3Dオーディオ（Direct Sound 3D対応）

■Dolby Master Studio 対応

■アナログテレビ（デュアル）、FMチューナー搭載

■デジタル出力端子として光1系統/同軸1系統装備

■5.1/7.1マルチチャンネル出力端子装備

■飛躍的な音質向上、デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成するVLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）をアナログ2チャンネル出力端子に搭載

■VGA/DVI/D4/Sビデオ 出力装備
パソコンのモニターやテレビなど、あらゆるモニター機器に接続可能

■USB 2.0ポートを4系統装備

■IEEE1394ポート（4ピン）を1系統、IEEE1394ポート（6ピン）を2系統装備

■メモリーカードスロット装備
スマートメディア/マルチメディアカード/SDカード/コンパクトフラッシュ　Type Ⅰ・Ⅱ/マイクロドライブ/メモリースティック/メモリースティック　PROに対応

■ワイヤレスキーボード付属
赤外線送信方式

PCスペック

- CPU：インテル® Pentium® D プロセッサ 820（2.80GHz）
- メインメモリ容量：1GB
- ハードディスク容量：400 GB
- DVDスーパーマルチドライブ
- ビデオコントローラ　Intel® 945G Expressチップセット内蔵
- Intel® PRO 10/100 Ethernet LANポート

ソフトウェア

- CyberLink PowerDVD 6
- NeroVision Express 3
- Net-Tune Central 3 MCE Edition
- Symantec Norton Internet Security 2006（90日限定版）
- SoftThink System Recovery

地上アナログテレビ放送について

地上アナログテレビ放送は、2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビを受信することはできません。

HDC-7(02-04)(SN29344221)　3　06.4.13, 2:57 PM
ブラック

主な特長

インテル® Viiv™ テクノロジー

デジタル・エンターテインメントを楽しむために設計されたインテルの新しいプラットフォーム、インテル® Viiv™ テクノロジーは、デュアルコア・プロセッサーのマルチタスク処理能力を提供し、ユーザーのライフスタイルにマッチする洗練された新しいデザインを実現します。

* Microsoft®、Windows®、Windows® Media は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

VECTOR LINEAR SHAPING CIRCUITRY

* VLSC®の名称、ロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。

* Net-Tune®およびネットチューンの名称、ロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“Dolby”、“ドルビー”およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。
“Master Studio”はドルビーラボラトリーズの商標です。

DIGITAL dts SURROUND

* “DTS”、“DTSデジタルサラウンド”はDTS社の登録商標です。
DTSは、PowerDVDの変更・削除によって、対応機能が変更もしくは非対応になります。
本機はDTS-CDのデジタル出力には対応していません。
DTS-CDを再生するときは、PowerDVDを起動し、S/PDIFの使用を無効にしてください。

CyberLink PowerDVD 6

* “Cyberlink”、“PowerDVD”はCyberlink社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

AAC パテントマーキング
Pat.5,848,391 5,291,557 5,451,954 5 400 433 5,222,189 5,357,594 5 752 225
5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5 297 236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874 98/03036
5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478 08/211,547
5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574 5,717,821

DVD MULTI RECORDER

COMPACT disc Ultra Speed ReWritable

RW High Speed
DVD+ReWritable

nero

nero VISION EXPRESS 3

HDC-7(02-04)(SN29344221) 4 06.4.14, 1:08 PM
ブラック

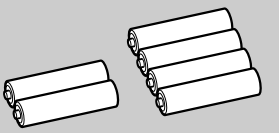
付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。箱を開けたら、まず付属品がそろっているかを確認してください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

●リモコン（1）

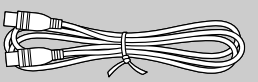
●キーボード（1）
キーボードに付属の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

●単3乾電池（リモコン用2、キーボード用4）

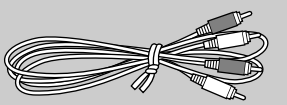


●FM室内アンテナ（1）

●地上アナログテレビ用アンテナケーブル 2m（1）

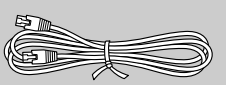


●オーディオ用ピンコード 1.5m（1）

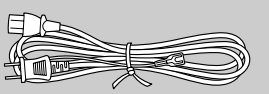


●Sビデオ/ビデオ変換ケーブル 1.5m（1）

●LANケーブル 1.5m（1）



●電源コード 1.5m（1）

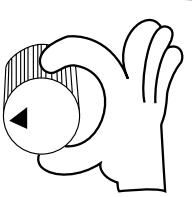


●取扱説明書 基本編（本書1）
●取扱説明書 Media Center 編（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●保証書（1）

**カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。**

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



HDC-7(05-07)(SN29344221) 5 06.4.13, 2:57 PM
ブラック

目次

本取扱説明書では、HDC-7と各機器との接続方法や、Media Centerを活用していただくための初期設定方法を説明いたします。接続方法が間違っていたり、初期設定を行っていないと、Media Centerやその他のソフトウェアが正しく動作しないことがありますので、本書をよくお読みになって接続や設定をしてください。
Media Centerやその他のインストールされているソフトウェアの詳しいご使用方法については、別冊の取扱説明書「Media Center編」をご覧ください。

接続方法

■テレビやモニターを接続する　25ページ
Windows®画面やDVDの映像を映し出すテレビやモニターとの接続方法です。
DVI、VGA、D4、Sビデオ/ビデオ(コンポジット)端子を装備していますので、テレビやパソコンのモニターなど、あらゆるテレビモニターと接続することができます。

■テレビのアンテナを接続する　26ページ
付属のテレビアンテナを壁のアンテナ（UHF/VHF）端子と接続すると、地上アナログテレビ放送を受信できます。
本機はデュアルテレビチューナーを搭載していますので、地上アナログテレビのアンテナ接続をしたときは、録画をしながら別の番組を見ることができます。
BS/CSやケーブルテレビのチューナーをお持ちの方は、音声と映像の出力端子を本機に接続してください。
※地上アナログテレビ放送終了後は、本機でアンテナによるテレビ受信はできなくなります。

■FMアンテナを接続する　27ページ
付属のFM室内アンテナを接続すると、FMラジオを受信することができます。

■ホームシアターシステムを接続する　28ページ
DVDやCDの音声をホームシアターで楽しむためのAVセンターとの接続方法です。
お使いの環境によって、デジタル、アナログ2チャンネル、アナログマルチチャンネル接続が選べます。
AVセンターをお持ちでない方も、テレビの入力端子と接続して、テレビのスピーカーで楽しむこともできます。

■インターネットに接続する　30ページ
インターネットを楽しんだり、テレビの番組ガイドをダウンロードするための接続方法です。
付属のLANケーブルを使い、ご使用の環境に合わせて、ADSL/CATVなどのモデムに接続したり、ホームネットワークに接続します。

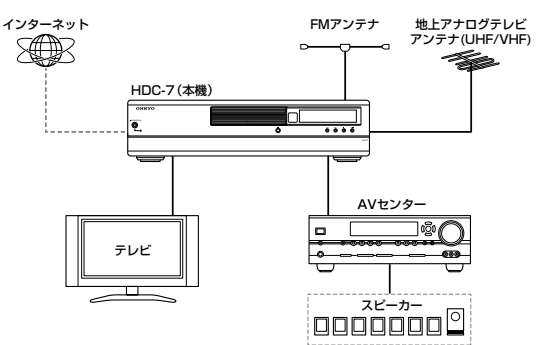
初期設定方法

■Windows®の初期設定　33ページ
初めて本機の電源を入れたときに表示される設定画面です。ここでは、日付や時間など、コンピューターの基本セットアップを行います。

■Media Centerの初期設定　34ページ
Media Centerをご使用になるときに必要な設定です。
再生環境やテレビの入力設定など、基本的な設定を行います。

■DVD再生のための初期設定　35ページ
DVDを再生するために必要な設定です。
この設定を行っていないと、DVDが正しく再生できないことがあります。本取扱説明書裏表紙にあるPowerDVDのCDキーを入力してください。
また、DVDオーディオを再生するためには、インターネットに接続してCPPMキーコードを取得してください。

■音声出力の設定　36、37ページ
AVセンターとデジタル接続したときや5.1チャンネル接続したときは、音声出力の設定をしてください。
AVセンターで正しくサラウンド再生するために必要です。



HDC-7(05-07)(SN29344221)　6　06.4.13, 2:57 PM
ブラック

目次

はじめに 2〜21

主な特長 2
付属品を確認する 5
オーディオ機器の正しい使いかた 8
ご使用になる前に 12
　ソフトウェア使用許諾契約について 13
ディスクの予備知識 14
　再生できるディスクについて 14
　書き込みできるディスクについて 15
　ディスクの取り扱いについて 16
本体、リモコンボタンの名前と働き 17
　前面パネル 17
　表示部 18
　後面パネル 19
　リモコン 20
リモコンを準備する 21

接続をする 22〜31

接続の前に 22
接続のあらすじ 23
　Media Centerシステムに必要な機器 23
接続をする 24
　接続のステップ 24
　テレビやモニターを接続する 25
　テレビのアンテナを接続する/BS·CS·
　　ケーブルテレビチューナーと接続する ..26
　FMアンテナを接続する 27
　ホームシアターシステムを接続する 28
インターネットに接続する 30
ネットワーク（LAN）に接続する 31

電源を入れる 32

電源を入れる 32
　電源コードを接続する 32
　電源を入れる 32

初期設定をする 33〜37

Windows®の初期設定をする 33
Media Centerの初期設定をする 34
DVD再生のための初期設定をする 35
音声出力の設定をする
　（デジタル接続時） 36
音声出力の設定をする
　（5.1チャンネル接続時） 37

スタンバイにする/電源を切る 38

スタンバイにする/電源を切る 38
　本機をスタンバイにする 38
　電源を切る 38

応用設定をする 39〜42

音声出力の設定をする
　（応用編SigmaTel Audio） 39
　マルチチャンネルの音声出力の
　　設定をする 39
　音量の調節をする 40
　ドルビーの設定をする 41

システム・リカバリ 43〜44

お買い上げ時の状態に戻す
　（システム・リカバリ） 43
　システム・リカバリの種類 43
　ノン·デストラクティブ·システム・
　　リカバリをする 43
　システム・リカバリ-クイック・
　　フォーマットをする 44

困ったときは 45

主な仕様 49

修理について 50
お客様ご相談窓口 50
保証について 51

HDC-7(05-07)(SN29344221) 7 06.4.13, 3:45 PM
ブラック

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対にカバー、前面パネル、後面パネルははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機のカバー、前面パネル、後面パネルは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
  本機には内部の温度上昇を防ぐため、カバーの上部、側面や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

HDC-7(08-11)(SN29344221) 8 06.4.13, 2:58 PM
ブラック

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔やディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

■ ETHERNETポートには電話回線を接続しない

● 本機のETHERNETポートに以下のネットワークや回線を接続すると、必要以上の電流が流れ、故障や火災の原因となります。
- 一般電話回線
- デジタル式構内交換機（PBX）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

HDC-7(08-11)(SN29344221) 9 06.4.13, 2:58 PM
ブラック

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠警告

■ アース線を電源コンセントに差し込まない

● アース線はアース端子以外に接続しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、本機の電源を切り、接続コードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 直射日光の当たる場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

● 音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
● 長時間継続してテレビやディスプレイを見ないように注意してください。目が疲れたり、視力の低下の原因となることがあります。画面を見るときは、お部屋を適度な明るさにしてください。
● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
● お子さまがディスクトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

■ 接続上の注意

● USBポートやLANポートに金属片を入れないでください。ショートして、火災や故障の原因となることがあります。
● コネクターはまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むとショートして、火災や故障の原因となることがあります。
● コネクターに固定用のネジがある場合は、必ず固定してください。

HDC-7(08-11)(SN29344221) 10 06.4.13, 2:58 PM
ブラック

⚠注意

■ 電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
● 電源プラグは直接コンセントに差し込んでください。延長コードを使用される場合は、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
● 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ アース線の注意

● アース線は必ず接続してください。感電の原因となることがあります。
アース線を取り付けることができない場合は、もよりの販売店にご相談ください。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
● 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

HDC-7(08-11)(SN29344221) 11 06.4.13, 2:58 PM
ブラック

ご使用になる前に

本機をお使いいただくにあたって

下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windows® の基本的な操作について、すでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本機を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。

ハードディスクのデータについて

本機に振動・衝撃を与えたり、停電などが発生すると、故障したりデータが消失する恐れがあります。
特に、動作中は振動や衝撃を与えたり、電源コードを抜かないでください。また、重要なデータは定期的に書き込み可能なCDやDVD、または外付けハードディスクなどに保存しておいてください。
ハードディスクの故障は、保障対象外です。故障した際の修理は有償になります。

ファンの音について

初めて本機の電源を入れたときや、電源コードを抜き差しした後に電源を入れたときは、一時的にファンの音が大きくなりますが故障ではありません。

著作権に関するご注意

CD、DVDやインターネットホームページ上の音楽・画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。
利用者自身が複製対象物について、著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなります。
本製品をそのように利用することは厳重にお控えください。

ハードディスクに蓄積されるコンテンツの免責について

本機に含まれる、またはインターネットもしくはCD等のメディアにより入手できるコンテンツ、情報、ソフトウェア、製品、およびサービスには、間違いや誤植が含まれていることがあります。また、お客様自身がインターネットもしくはCD等のメディアにより本機に蓄積されるコンテンツ、情報、ソフトウェア、製品、およびサービスの著作権の取り扱いについては、オンキヨー株式会社は、一切の責任を負わないものとします。
オンキヨー株式会社は、いかなる直接損害、間接損害、懲罰損害、偶発損害、特別損害、派生損害 (本機の使用もしくは性能、本機または関連サービスの使用不能もしくは遅滞、サービスの提供もしくは提供不履行、または本機を通じて取得されたコンテンツ、情報、ソフトウェア、製品、サービスおよび関連のグラフィックスに起因もしくは関連するか、あるいはそれ以外で本機の使用に起因する使用の逸失、破損、データもしくは利益の逸失に関する損害) についても、それが契約、不法行為、過失、厳格責任その他のいずれに基づくかを問わず、一切責任を負わないものとします。たとえ、オンキヨー株式会社が、かかる損害の発生を知らされていた場合であっても同様です。

電波障害自主規制について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本機は家庭環境で使用することを目的としていますが、テレビやラジオに近接して設置されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本機は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをおすすめします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

レーザー安全基準について

本機に搭載しているスーパーマルチドライブは、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合品です。

HDC-7(12-16)(SN29344221) 12 06.4.13, 2:58 PM
ブラック

ソフトウェア使用許諾契約について

本製品にインストールされているソフトウェアをお使いになる前に必ずお読みください。
お客様がソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約の内容を承諾したことになります。
一部ソフトウェアに別途の「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約書より優先されて適用されます。
本契約の内容に同意できない場合は、お使いにならないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が、HDC-7（以下、本製品）にインストールされているソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条（定義）

1.「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェアおよびフォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2.「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3.「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む本製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1.本ソフトウェアは本製品にセットアップしたときのみご利用いただけます。
2.本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。
1.本契約書に定めのない、複数コンピュータへの複製（コピー）。
2.関連資料の複製（コピー）。
3.本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4.本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5.本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6.本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1.弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2.弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3.弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1.本契約は、本契約が成立した時点、すなわちお客様が本ソフトウェアの使用を開始した時点から、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2.お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

HDC-7(12-16)(SN29344221) 13 06.4.13, 2:59 PM
ブラック

ディスクの予備知識

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクは、再生ソフト（Media Center、PowerDVD）によって異なります。
この項をよくお読みになり正しく再生をしてください。

- 再生可能なディスクマークでも、ディスクの録音/録画状態により、再生できないことがあります。
- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■（ストップ）ボタンを押してください。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル、パッケージまたはジャケットに下記のマークが付いているディスクを使用してください。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVDビデオ	DVD-R*2（1層/2層）	DVD-RW*2
DVDオーディオ*1	DVD+R*2（1層/2層）	DVD+RW*2
CD*4	DVD-RAM*2	
ビデオCD*3*4	CD-R*3*4	CD-RW*3*4

*1 **DVDオーディオ**はPowerDVDでのみ再生が可能です。
*2 **VRモード**で記録したディスクはPowerDVDでのみ再生が可能です。
*3 **ビデオCD**フォーマットのディスクはPowerDVDでのみ再生が可能です。
*4 **DTS-CD**はPowerDVDでのみ再生が可能です。ただし、再生する場合はS/PDIFの使用を無効にしてください。（☞36ページ）Media Centerで再生しようとすると、ノイズやフリーズの原因となりますので、DTS-CDを再生するときは必ずPowerDVDを起動してS/PDIFの設定を確認してからディスクを挿入してください。

■PowerDVD（再生ソフト）について

- PowerDVDでは写真や画像（JPEG/GIF/BMP）は表示できません。
- CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応
  一回だけ録画可能のデジタル放送を記録したもの（DVD-VR方式で記録したCPRM対応ディスク）を再生できます。

■DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2 ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

■DVDの再生について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。

■ビデオCDについて

PowerDVDではPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（「PBC」は、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。

HDC-7(12-16)(SN29344221) 14 06.4.14, 1:09 PM
ブラック

■複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

■CD-R/CD-RWの再生について

本機は音楽CDフォーマット、またはMP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。

■ファイナライズしていないディスクについて

本機ではファイナライズしていないディスクは再生できません。市販のDVDレコーダーなどで作成したディスクを使用するときは、必ずファイナライズ処理をしてください。

書き込みできるディスクについて

本機で記録できるディスクは、書き込みソフト（Media Center、NeroVision Express 3）によって異なります。
この項をよくお読みになり正しく書き込みをしてください。

- **データCD/DVD形式、オーディオCD形式で記録したい**ときは、**Media Centerの「CD/DVDの作成」**メニューから記録してください。音楽・写真・映像ファイルをデータCD/DVD形式で記録したり、音楽ファイルをオーディオCD形式（通常のCDプレーヤーでも再生できる形式）で記録することもできます。
- **DVDをビデオモードまたはVRモードで記録したい**ときは、**NeroVision Express 3**を立ち上げてください。
  ビデオファイルをDVDビデオフォーマット（ビデオモード）やDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録することができます。CD-R/RWにはVideoCD、SuperVideoCD、miniDVD形式でも記録することができます。

■書き込み時の注意

- ディスクに記録している間は、他の作業をしないでください。ディスクの書き込みを失敗する恐れがあります。
- 記録できるディスクマークでもディスクによっては記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- ファイルフォーマットにより、ディスクへの記録ができないことがあります。
- コピーコントロールCDなどCD規格に準拠していないCDは、ディスクに書きこめない場合があります。
  詳しくはCDの発売元にお問い合わせください。

記録できるディスクの種類とマーク	
DVD-R*1（1層/2層） DVD-RW	DVD+R DVD+RW*3（1層/2層*2）
DVD-RAM*4	CD-R CD-RW

*1 DVD-R（1層/2層）はVRモードで記録することはできません。
*2 DVD+R（2層）はビデオモードまたはVRモードで記録することはできません。
*3 DVD+RWはデータDVD形式では記録することができません。
*4 DVD-RAMはデータDVD形式では記録することができません。

- DVD-R（1層）は、DVD-R for General Ver. 2.0に準拠したディスクをご使用ください。
- DVD-R(2層)は、DVD-R for DL Ver. 3.0/4×-SPEED DVD-R for DL Revision1.0に準拠したディスクをご使用ください。
- DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1または Ver.1.2に準拠したディスクをご使用ください。
- DVD+Rは、DVD+R 16×に準拠したディスクをご使用ください。
- DVD+R DLは、DVD+R Double Layer 8×に準拠したディスクをご使用ください。
- DVD-RAMは、DVD-RAM Ver. 2.0 または Ver. 2.1に準拠したディスクをご使用ください。

カートリッジタイプのDVD-RAMについて

DVD-RAMにはカートリッジタイプと非カートリッジタイプがあります。
カートリッジタイプのDVD-RAMを使用するときは、カートリッジからDVD-RAMが取り出せるタイプ（Type2または4）を使用してください。
カートリッジからDVD-RAMを取り出してからディスクトレイに置いてください。
Type4は両面を同時に使用できません。ディスクの裏面にデータを書き込む場合は、ディスクを裏返してください。

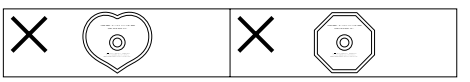
HDC-7(12-16)(SN29344221) 15 06.4.13, 2:59 PM
ブラック

ディスクの予備知識

ディスクの取り扱いについて

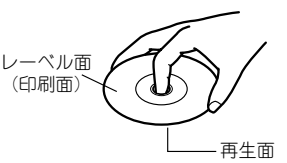
■異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



■取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

結露について

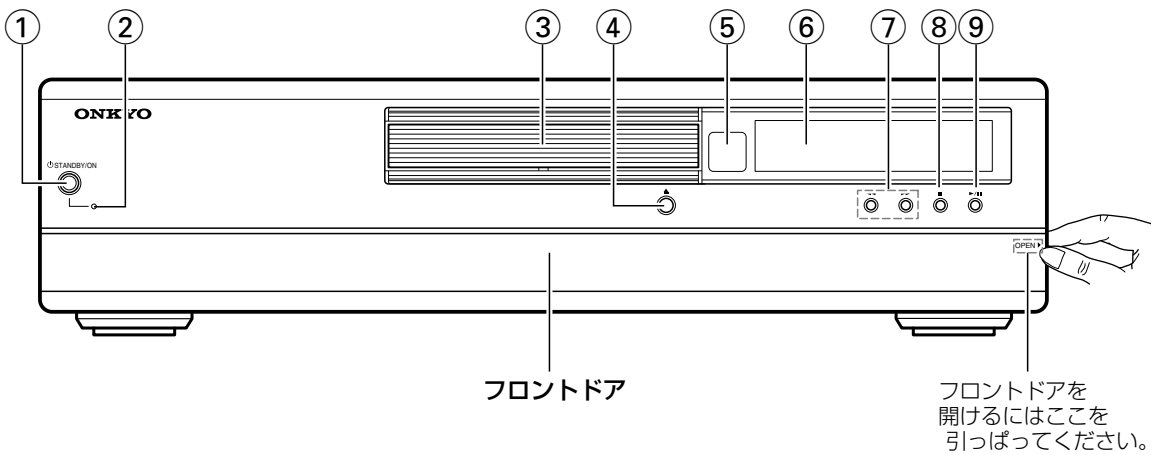
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

HDC-7(12-16)(SN29344221) 16 06.4.13, 2:59 PM
ブラック

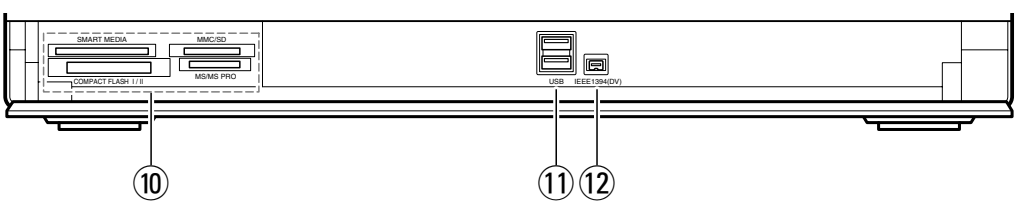
本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

詳しい説明は〔 〕内のページをご覧ください。



■前面パネルフロントドア内



① **STANDBY/ONボタン**〔32、38〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

② **STANDBYインジケーター**〔32、38〕
スタンバイ時には赤く点灯し、オフ時にはオレンジ色に点灯します。電源を入れると消灯します。

③ **ディスクトレイ**
ディスクを入れます。

④ **▲ボタン**
ディスクトレイを開閉します。

⑤ **リモコン受光部**〔21〕
リモコン、ワイヤレスキーボードからの信号を受信します。

⑥ **表示部**
次ページをご覧ください。

⑦ **◀◀/▶▶ボタン**
映像や音声の早送り/早戻しをします。

⑧ **■ボタン**
再生を停止します。

⑨ **▶/❙❙ボタン**
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと再生状態に戻ります。

⑩ **メモリーカードスロット**〔48〕
スマートメディア/マルチメディアカード/SDカード/コンパクトフラッシュ　TypeⅠ・Ⅱ/マイクロドライブ/メモリースティック/メモリースティック PROに対応しています。

⑪ **USBコネクター×2**
USB機器を接続することができます。
本機はUSB1.1およびUSB2.0に対応しています。

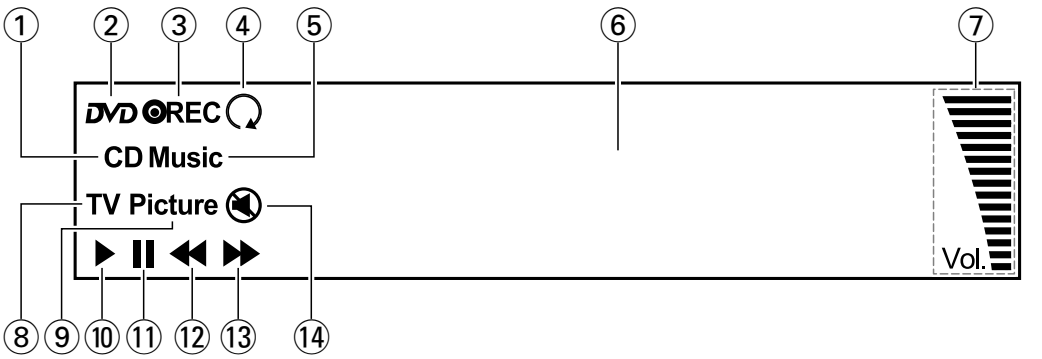
⑫ **IEEE1394（DV）コネクター（4ピン）**
IEEE1394規格対応のデジタルビデオカメラなどを接続します。このコネクターは、電源の供給は行いません。

HDC-7(17-21)(SN29344221)　17　06.4.13, 2:59 PM
ブラック

本体、リモコンボタンの名前と働き

表示部

アプリケーションの動作により、正しく点灯しないことがあります。



① **CDインジケーター**
CDを再生しているときに点灯します。

② **DVDインジケーター**
DVDを再生しているときに点灯します。

③ **RECインジケーター**
録画しているときに点灯します。

④ **リピートインジケーター**
リピート再生しているときに点灯します。

⑤ **Musicインジケーター**
パソコン内の音楽ファイルを再生しているときに点灯します。

⑥ **メッセージ表示部**
いろいろなメッセージを表示します。

⑦ **ボリュームインジケーター**
音量を表示します。

⑧ **TVインジケーター**
テレビを受信しているときに点灯します。

⑨ **Pictureインジケーター**
写真を表示しているときに点灯します。

⑩ **▶インジケーター**
再生時に点灯します。

⑪ **❚❚インジケーター**
一時停止中に点灯します。

⑫ **◀◀インジケーター**
早戻し中に点灯します。

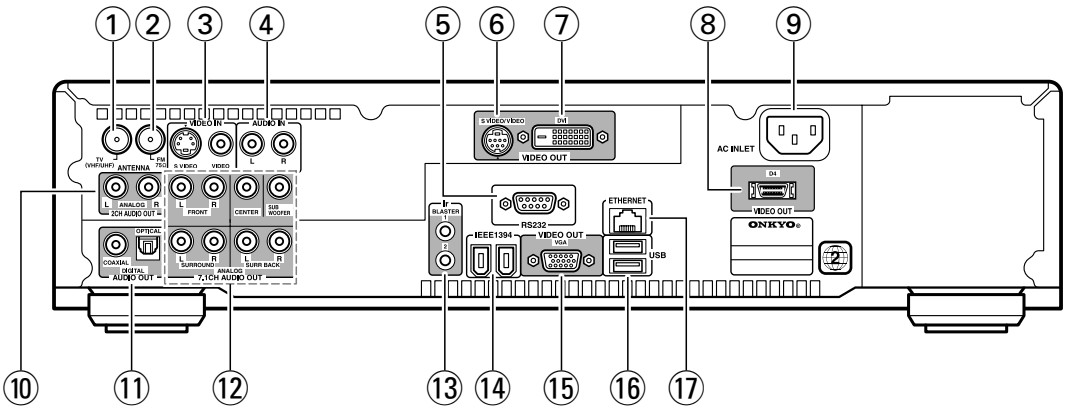
⑬ **▶▶インジケーター**
早送り中に点灯します。

⑭ **ミューティングインジケーター**
ミュート中に点灯します。

HDC-7(17-21)(SN29344221) 18 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

後面パネル

詳しい説明は〔 〕内のページをご覧ください。



① **地上アナログテレビ用アンテナ端子**〔26〕
地上アナログテレビ放送を受信します。
付属のテレビアンテナケーブルを使って、壁などのアンテナ端子と接続します。

② **FMアンテナ端子**〔27〕
付属の室内用FMアンテナを接続します。

③ **S VIDEO(ビデオ)/VIDEO VIDEO IN(イン)端子**〔27〕
BS・CS・ケーブルテレビチューナーなどをご使用の場合は、本機のS VIDEO端子またはVIDEO端子と接続してください。

④ **AUDIO(オーディオ) IN(イン) L/R端子**〔27〕
BS・CS・ケーブルテレビチューナーなどをご使用の場合は、本機と音声接続してください。

⑤ **RS232端子**
外部のコントロール機器から本機をコントロールすることができます。

⑥ **S VIDEO(ビデオ)/VIDEO VIDEO OUT(アウト)端子**〔25〕
本機からS映像を出力する端子です。
付属のSビデオ/ビデオ変換ケーブルを使って、テレビのSビデオ入力端子またはビデオ（コンポジット）入力端子と接続します。Sビデオ（7ピン）プラグ側を本機に接続してください。

⑦ **DVI VIDEO(ビデオ) OUT(アウト)端子**〔25〕
本機からDVI映像を出力する端子です。
テレビやモニターのDVI入力端子と接続します。

⑧ **D4 VIDEO(ビデオ) OUT(アウト)端子**〔25〕
本機からD4映像を出力する端子です。
テレビのD映像入力端子と接続します。

⑨ **AC INLET(インレット)**〔32〕
付属の電源コードを接続します。

⑩ **2CH(チャンネル) AUDIO(オーディオ) OUT(アウト)（VLSC）端子**〔29〕
AVセンターやテレビと接続します。
オンキヨー独自のVLSC回路を搭載していますのでアナログ2チャンネルでも高音質で聞くことができます。

⑪ **COAXIAL(コアキシャル)/OPTICAL(オプティカル) DIGITAL(デジタル) AUDIO(オーディオ) OUT(アウト)端子**〔28〕
AVセンターのデジタル音声入力端子と接続します。
Dolby(ドルビー) Digital(デジタル)やDTSのリスニングモードをお楽しみいただけます。

⑫ **7.1CH AUDIO(チャンネル オーディオ) OUT(アウト)端子**〔28、29〕
5.1または7.1チャンネル入力端子のあるAVセンターと接続します。
DVDオーディオのマルチチャンネルアナログ音声をお楽しみいただけます。

⑬ **Ir BLASTER(ブラスター) 1/2端子**〔27〕
付属のリモコンでBS・CS・ケーブルテレビチューナーなどのチャンネルを操作するときに使用する端子です。
市販のIrブラスター（赤外線制御ケーブル）を接続してください。

⑭ **IEEE1394コネクター（6ピン）**
Windows® XPに対応しているIEEE1394機器と接続します。
バックアップ用に外付けハードディスクなどが接続できます。
デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをインストールしてください。
接続する機器の取扱説明書を参照してください。
これらのコネクターは、電源の供給を行うことができます。

⑮ **VGA VIDEO(ビデオ) OUT(アウト)端子**〔25〕
本機からVGA映像を出力する端子です。
テレビやモニターのVGA入力端子と接続します。

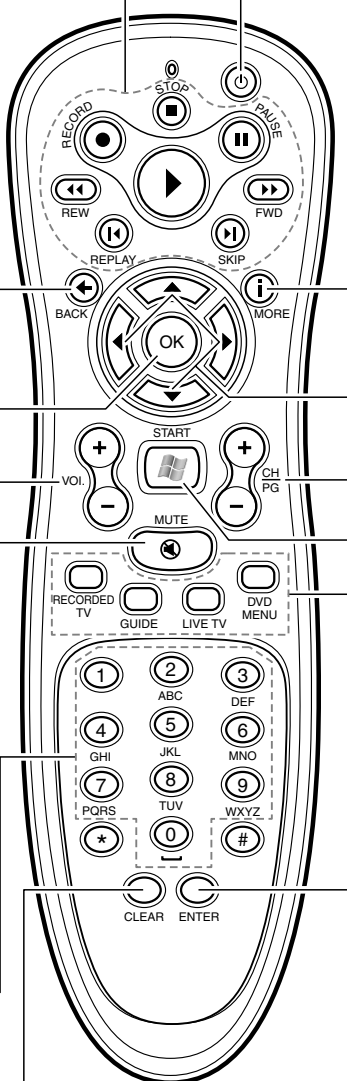
⑯ **USBコネクター**
USB機器を接続することができます。
本機はUSB1.1およびUSB2.0に対応しています。

⑰ **ETHERNET(イーサネット)ポート**〔30、31〕
付属のLANケーブルを使ってADSL/CATVなどのモデムに接続するかホームネットワークに接続します。

HDC-7(17-21)(SN29344221) 19 06.4.14, 1:10 PM
ブラック

本体、リモコンボタンの名前と働き

リモコン



操作ボタン

■STOP（ストップ）ボタン：
再生や録画を停止します。

●RECORD（レコード）ボタン：録画を行います。

▶ボタン（プレイ）：再生を始めます。

❚❚PAUSE（ポーズ）ボタン：
再生や録画を一時停止します。

◀◀REW（リワインド）/FWD（フォワード）▶▶ボタン
映像や音声の早送り/早戻しを行います。

❙◀REPLAY（リプレイ）/SKIP（スキップ）▶❙ボタン：
DVDやCDのトラックを頭出しします。

スタンバイ/オン ボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

i MORE（モア）ボタン
選択しているアイテムの詳細情報を表示します。

▲/▼/◀/▶ボタン
Media（メディア） Center（センター）画面を操作します。

←BACK（バック）ボタン
1つ前のMedia（メディア） Center（センター）画面に戻ります。

CH/PG（チャンネル ページ） +/−ボタン
テレビチャンネルを切り換えます。

OK（オーケー）ボタン
Media（メディア） Center（センター）のオプションを選択します。

START（スタート）ボタン
Media（メディア） Center（センター）を起動します。

VOL.（ボリューム） +/−ボタン
音量を調節します。 AVセンターとデジタル接続したときや、アナログ2チャンネル〔2CH AUDIO OUT（VLSC）端子〕接続したときは、AVセンター側で音量調節してください。

ダイレクトボタン

RECORDED TV（レコーディッド テレビ）ボタン：
録画したテレビを見るときに使用します。

GUIDE（ガイド）ボタン：
テレビ番組ガイドを表示します。

LIVE TV（ライブ テレビ）ボタン：
放送中のテレビを全画面で表示します。

DVD MENU（メニュー）ボタン：
DVDソフトのメニュー画面を表示します。

MUTE（ミュート）ボタン
ミュート状態にします。

数字、文字、記号ボタン
テレビのチャンネルを切り換えたり、文字を入力するときに使用します。

CLEAR（クリア）ボタン
入力した文字や数字を取り消します。
キーボードのBackspace（バック スペース）キーと同じ働きをします。

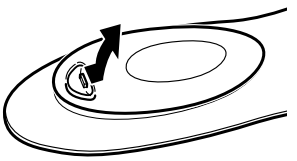
ENTER（エンター）ボタン
Media（メディア） Center（センター）画面のオプションを選択します。OKボタンと同じ働きをします。

HDC-7(17-21)(SN29344221) 20 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

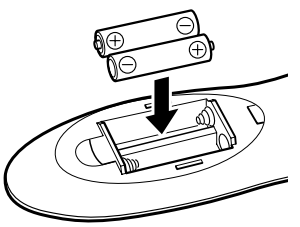
リモコンを準備する

乾電池を入れる

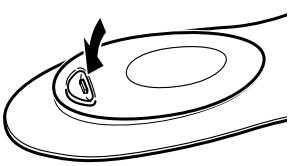
1. ツメを押してカバーを開ける



2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる



3. カバーを戻す

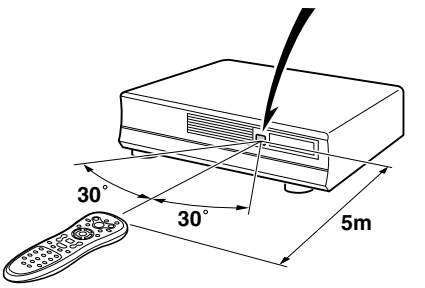


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。リモコンからの信号を受信すると、本機のSTANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯します。



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

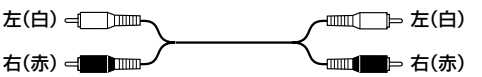
HDC-7(17-21)(SN29344221) 21 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

接続の前に

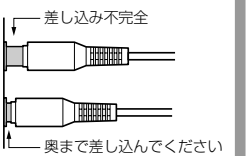
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。



光デジタル出力端子について

本機の光デジタル端子はとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。
ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

映像/音声ケーブルと端子の種類について

	ケーブルと端子の種類			
	ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
映像	DVIケーブル		DVI	一番高画質が得られます。デジタル映像信号を直接送ることができます。
	VGAケーブル		VGA	D端子より良いアナログ映像が得られます。一般的にコンピューターのモニターなどに使われています。
	D端子用接続コード		D4	画質はSビデオより良い映像が得られます。映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることができます。
	Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像より良い画質が得られます。本機では映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることはできません。
	ビデオコード（コンポジット）		VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。
	Sビデオ/ビデオ変換ケーブル	（付属）	S VIDEO	Sビデオ信号をSビデオまたはコンポジットに変換し伝送します。両方接続したときは、Sビデオが優先されます。
音声	光デジタルケーブル（OPTICAL）		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はCOAXIALと同レベルです。
	同軸デジタルケーブル（COAXIAL）		COAXIAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はOPTICALと同レベルです。
	オーディオ用ピンコード	（付属）	L R	アナログ音声を伝送します。
		×4	FRONT CENTER SUB WOOFER SURROUND SURR BACK ANALOG 7.1CH AUDIO OUT	アナログマルチチャンネル音声を伝送します。

HDC-7(22-29)(SN29344221) 22 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

接続のあらすじ

Media Center（メディア センター）システムに必要な機器

地上アナログテレビ用アンテナケーブル（付属）
BS/CSデジタルチューナーやケーブルテレビのチューナーをお持ちの方は、オーディオ/ビデオ用ピンコードやSビデオケーブルと、市販のIrブラスター（赤外線制御ケーブル）をご用意ください。

FM室内用アンテナ（付属）
受信感度によっては、屋外アンテナをご用意ください。

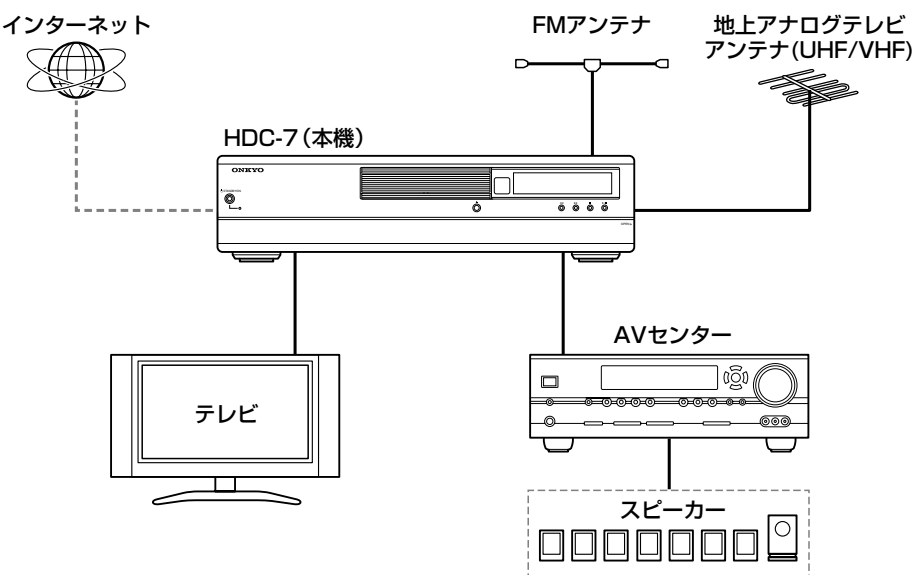
ホームシアターシステム（AVセンターとスピーカー）
映画や音楽をホームシアター環境で楽しみたい方はAVセンターとスピーカーをご用意ください。
AVセンターがない場合でも、テレビのスピーカーで音声をお楽しみいただけます。
AVセンターに装備している音声端子に合った音声ケーブルをご用意ください。
オーディオ用ピンコードは1本付属しています。

テレビ、パソコンのモニター、プロジェクターなど
映画や写真を映し出すために必要です。
テレビに装備している映像端子に合ったケーブルをご用意ください。
Sビデオ/ビデオ変換ケーブルは付属しています。

LAN（ラン）ケーブル(付属)とモデム(インターネット接続用)
モデムとは専用回線と接続してインターネットに通信を行うための機器です。ルータにあるDHCP機能を使用して自動的にIPを取得できるケーブルモデム、xDSLモデム、回線終端装置などが必要です。

ご注意

インターネットに接続するためには、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）と契約する必要があります。
ISP業者によって使用できるモデムの種類が異なりますので詳しくはISP業者、またはPC関連ショップにお問い合わせください。



HDC-7(22-29)(SN29344221) 23 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

接続をする

接続のステップ

以下の手順で接続を行ってください。
電源コードは、すべての接続が終わるまでつながないでください。

ステップ1：設置する

本機を設置するときは放熱を妨げないでください。
- 通風孔を絶対にふさがないでください。
- 本機の上にものを乗せないでください。
- 後面パネルは壁から20cm以上離して設置してください。
- ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から20cm以上、背面から10cm以上の隙間を開けてください。
- 本機は横置き専用です。縦置きにしたり逆さまにして使用しないでください。

！ヒント

本機の側面にWindows®のプロダクトキーを添付しています。設置の前に本書に書き写しておくことをおすすめします。
（☞33ページ）

Windows®プロダクトキー：＿＿＿＿＿＿ － ＿＿＿＿＿＿ － ＿＿＿＿＿＿ － ＿＿＿＿＿＿ － ＿＿＿＿＿＿

ステップ2：テレビやモニターを接続する（25ページ）

テレビやモニターに本機の映像出力端子を接続します。
以下の映像接続が可能です。
- DVI接続
- VGA接続
- D端子接続
- Sビデオまたはビデオ（コンポジット）接続

ステップ3：テレビのアンテナを接続する/BS・CS・ケーブルテレビチューナーと接続する（26ページ）

地上アナログテレビのアンテナを接続します。
BS/CSやケーブルテレビのチューナーをお持ちの方は、出力端子を本機に接続し、市販のIrブラスター（赤外線制御ケーブル）を接続します。

ステップ4：FMアンテナを接続する（27ページ）

付属のFM室内アンテナを接続します。

ステップ5：ホームシアターシステムを接続する（28ページ）

AVセンターと本機の音声出力端子を接続します。
以下の音声接続が可能です。
- デジタル（光または同軸）接続
- アナログマルチチャンネル接続
- アナログ2チャンネル接続（テレビとの音声接続）

HDC-7(22-29)(SN29344221) 24 06.4.13, 3:00 PM
ブラック

ステップ2：テレビやモニターを接続する

テレビやモニターに本機の映像出力端子を接続します

お使いのテレビやモニターに合わせていずれか一つの接続をしてください。

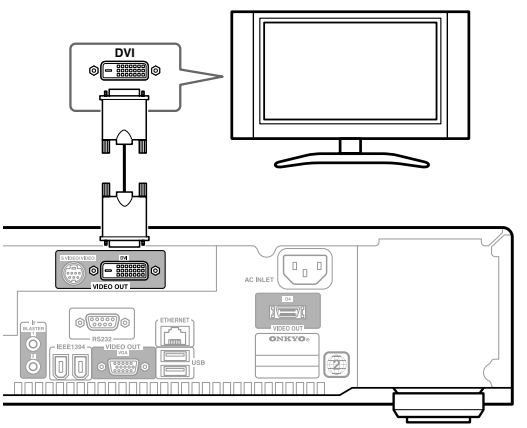
- DVI接続
- VGA接続
- D端子接続
- Sビデオまたはビデオ（コンポジット）接続

！ヒント

良い映像を得るためにはDVI接続をお勧めします。

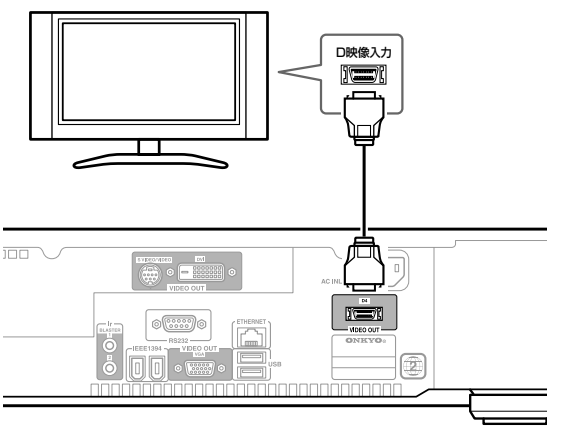
DVI接続

本機のDVI VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）端子とテレビやモニターのDVI入力端子を接続します。



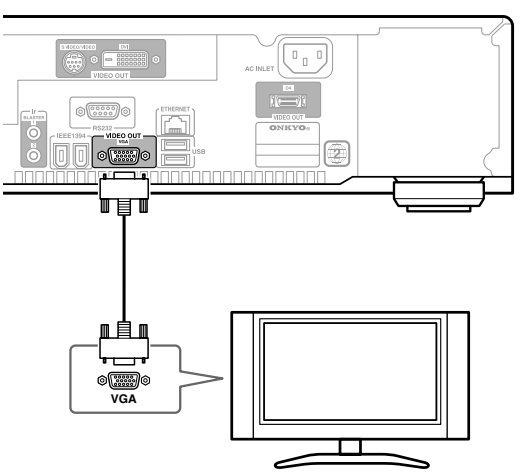
D端子接続

本機のD4 VIDEO OUT端子とテレビやモニターのD4入力端子を接続します。



VGA接続

本機のVGA VIDEO OUT端子とテレビやモニターのVGA入力端子を接続します。

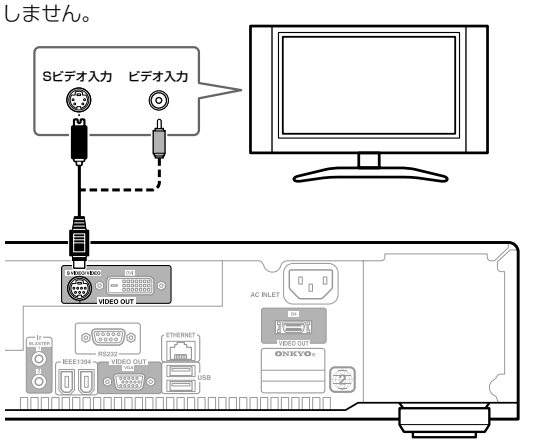


Sビデオまたはビデオ（コンポジット）接続

付属のSビデオ/ビデオ変換ケーブルを使って、本機のS VIDEO/VIDEO VIDEO OUT端子と、テレビやモニターのSビデオ入力またはビデオ(コンポジット)入力端子を接続します。

ご注意

- 本機のS VIDEO/VIDEO VIDEO OUT端子に付属ケーブルのSビデオ(7ピン)プラグ側を本機に接続してください。
- Sビデオとビデオ端子は同時に出力されません。どちらか片方を接続してください。両方接続したときは、Sビデオ信号が優先されます。
- D端子接続をしている場合は、Sビデオ/ビデオ端子から出力しません。



HDC-7(22-29)(SN29344221) 25 06.4.14, 1:10 PM
ブラック

接続をする

ステップ3：テレビのアンテナを接続する/BS・CS・ケーブルテレビチューナーと接続する

テレビの入力を接続します

ご使用の環境に合わせてどちらかの接続をしてください。

地上アナログテレビ アンテナとの接続 ⟵ または ⟶ BS・CS・ケーブルテレビ チューナーとの接続

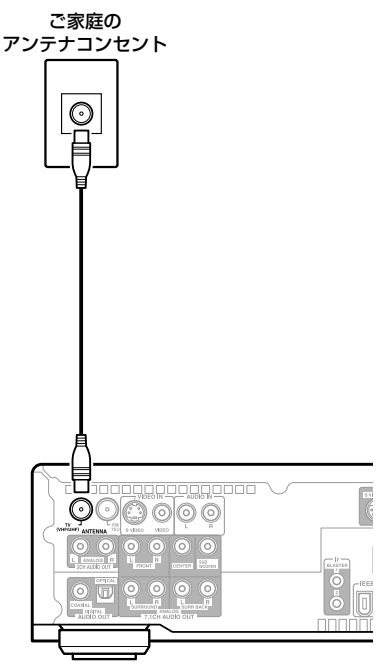
BS・CS・ケーブルテレビチューナーをお持ちの方は、BS・CS・ケーブルテレビチューナーと映像/音声接続をしてください。

地上アナログテレビのアンテナを接続する

付属の地上アナログテレビ用アンテナケーブルを使って、壁のアンテナ（UHF/VHF）と本機のTV(UHF/VHF)端子を接続します。

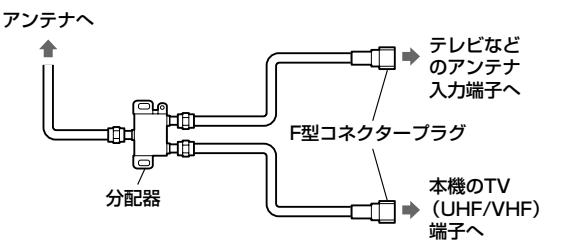
！ヒント

ご使用のアンテナによってはU/V混合器や分配器が必要になります。



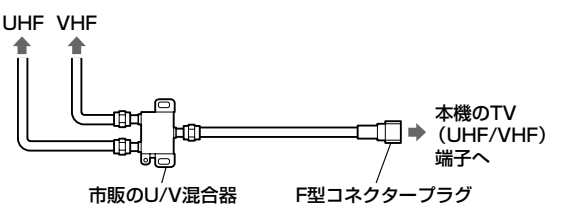
すでにアンテナをテレビに接続している場合

市販の分配器を使って、アンテナ線を2つに分けてください。



壁のアンテナがUHFとVHFに分かれている場合

市販のU/V混合器を使って、アンテナ線を1本にします。



！ヒント

UHF/VHFアンテナをチューナーやビデオデッキ経由で本機のTV(UHF/VHF)端子に接続することもできますが、電波が弱くなり画面がきれいに映らないことがあります。

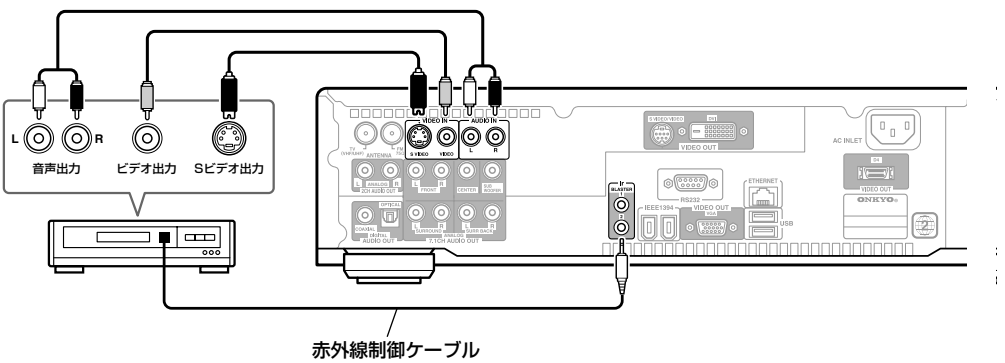
BS・CS・ケーブルテレビチューナーをお持ちの方は、次ページの接続を行ってください。

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、本機でアンテナによるテレビ受信はできなくなります。

HDC-7(22-29)(SN29344221) 26 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

BS・CS・ケーブルテレビチューナーと接続する

1. Sビデオコードまたはビデオコードを使って本機のS VIDEO IN端子またはVIDEO IN端子と、BS・CS・ケーブルテレビチューナーの映像出力端子を接続してください。
2. オーディオ用ピンコードを使って本機のAUDIO IN L/R端子とBS・CS・ケーブルテレビチューナーの音声出力端子を接続してください。
3. 市販のIrブラスター（赤外線制御ケーブル）を本機のIr BLASTER 1または2端子に接続して、先端の発光部をBS・CSケーブルテレビチューナーのリモコン受光部付近に貼り付けてください。

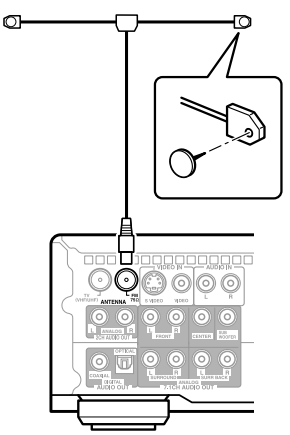


！ヒント

お使いになるケーブルによって、画質や音質に影響が出ることがありますので、良質なケーブルをお使いになることをお勧めします。

ステップ4：FMアンテナを接続する

付属のFMアンテナを本機のFMアンテナ端子に接続してください。



電源を入れた後、FM放送を聞きながらアンテナの位置を変えて、受信状態が良くなる設置場所を見つけてください。アンテナの先端を画びょうなどで止めてください。

ご注意

画びょうなどを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

FM屋外アンテナについて

FM屋外アンテナを下図のように接続します。

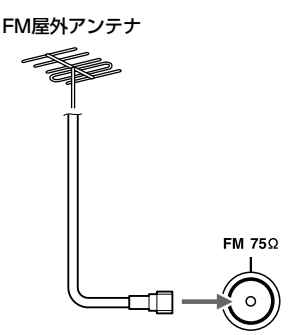
！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。



HDC-7(22-29)(SN29344221) 27 06.4.14, 1:11 PM
ブラック

接続をする

ステップ5：ホームシアターシステムを接続する

AVセンターやテレビに音声出力端子を接続します

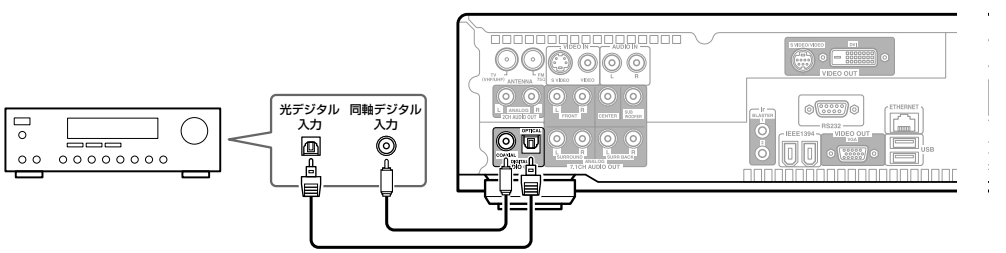
ご使用の環境に合わせて必要な接続をしてください。

- **デジタル(光または同軸)接続（5.1チャンネル再生）**
  ドルビーデジタルやDTSのリスニングモード（5.1チャンネル）をお楽しみになりたい方はこの接続をしてください。
- **アナログマルチチャンネル接続（5.1/7.1チャンネル再生）**
  AVセンターにアナログマルチチャンネル入力がある場合に接続してください。
  DVDオーディオを楽しむためには、この接続が必要です。
- **アナログ2チャンネル接続（テレビとの音声接続）**
  オンキヨーVLSC回路を搭載していますので、高音質なアナログ2チャンネル再生をお楽しみいただけます。
  AVセンターやテレビの入力端子と接続してください。
  ただし、この接続ではSigmaTel Audioの機能（ドルビーバーチャルスピーカーやドルビーヘッドフォンなど）は使えません（☞39～42ページ）

デジタル（光または同軸）接続

本機のOPTICAL（オプティカル） DIGITAL（デジタル） AUDIO（オーディオ） OUT（アウト）端子とAVセンターの光デジタル入力端子を接続する。
または、本機のCOAXIAL（コアキシャル） DIGITAL AUDIO OUT端子とAVセンターの同軸デジタル入力端子を接続する。

ご注意
- デジタル(光または同軸)接続は7.1チャンネル再生には対応していません。
- デジタル(光または同軸)接続をしたときは、AVセンター側で音量を調節してください。



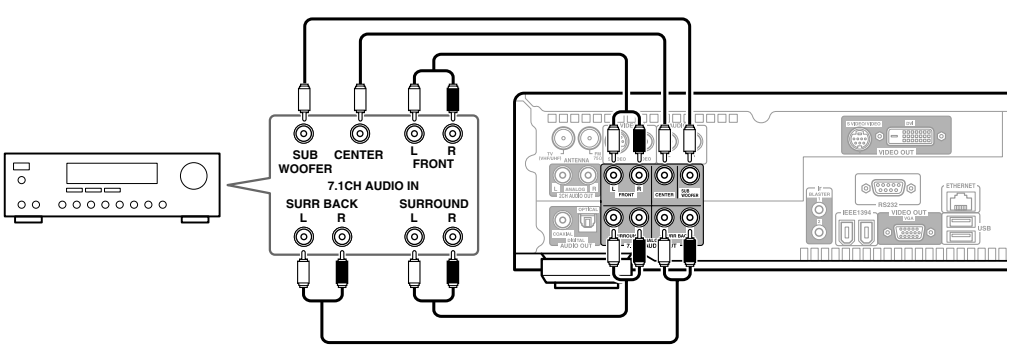
重要

ドルビーデジタルやDTSの音声をお楽しみになるときは、デジタル音声出力の設定をする必要があります。（☞36ページ）

アナログマルチチャンネル接続

■7.1チャンネル接続

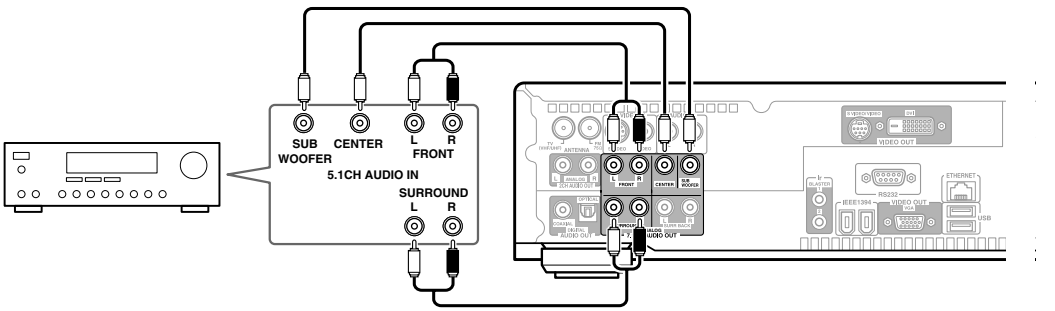
7.1チャンネル接続するときは、マルチチャンネル接続用ピンコードまたはオーディオ用ピンコード4本を使って、本機の7.1CH（チャンネル）AUDIO（オーディオ） OUT（アウト） FRONT（フロント） L/R、CENTER（センター）、SUBWOOFER（サブウーファー）、SURROUND（サラウンド） L/R、SURR BACK（サラウンド バック） L/R端子と、AVセンターのマルチチャンネル入力端子を接続します。



HDC-7(22-29)(SN29344221) 28 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

■5.1チャンネル接続

5.1チャンネル接続するときは、マルチチャンネル接続コードまたはオーディオ用ピンコード3本を使って、本機の7.1CH AUDIO OUT FRONT L/R、CENTER、SUBWOOFER、SURROUND L/R端子と、AVセンターのマルチチャンネル入力端子を接続します。



重要

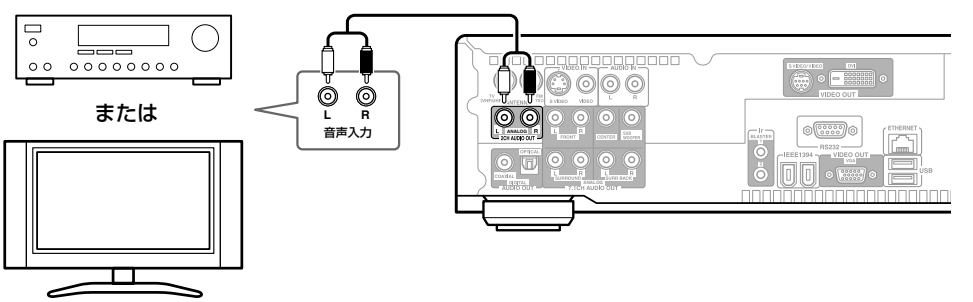
5.1チャンネル接続したときは、SigmaTel Audioの設定をする必要があります。（☞37ページ）

！ヒント

アナログマルチチャンネル接続したときは、本機またはAVセンター側の両方で音量調節が可能です。

アナログ2チャンネル接続

付属のオーディオ用ピンコードを使って本機の2CH AUDIO OUT端子とAVセンターやテレビのアナログ音声入力端子を接続します。



ご注意

アナログ2チャンネル接続したときは、AVセンター側で音量調節をしてください。

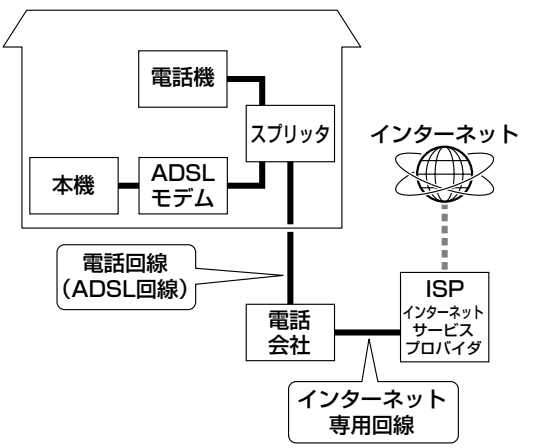
HDC-7(22-29)(SN29344221) 29 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

インターネットに接続する

インターネットに接続するには、さまざまな通信方法があります。ご使用の環境に合わせて接続をしてください。
ここでは、代表的な接続方法について説明します。
インターネットの接続方法などについては、各機器の取扱説明書や、プロバイダ、CATV局などから送られてくる説明書を参照してください。LANケーブルは1本付属しています。

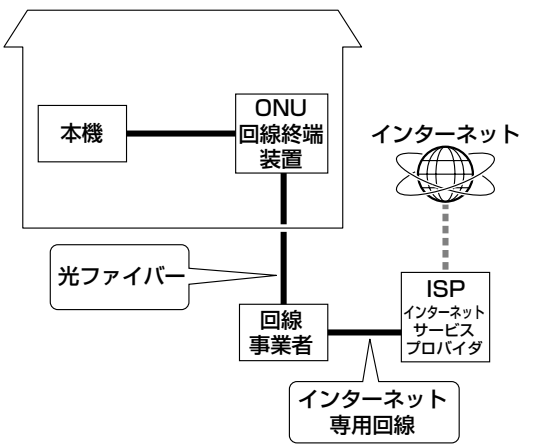
ADSL

一般の固定電話回線(アナログ)と、パソコンの間に「ADSLモデム」を接続して、高速でインターネット接続するサービスです。
ADSL接続サービスを提供しているプロバイダへの申し込みが必要です。



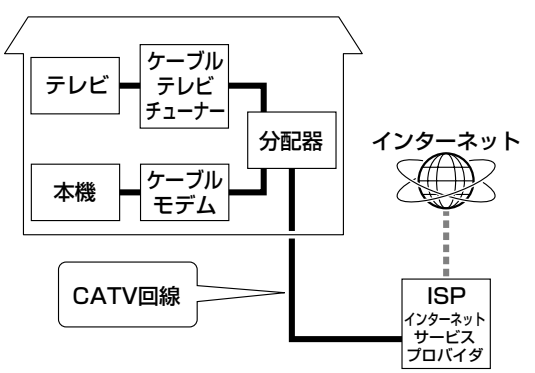
FTTH

光ファイバーを使った回線を利用してインターネットに接続するサービスです。他のブロードバンド方式よりも高速な通信が可能です。
FTTHを提供しているプロバイダへの申し込みが必要です。光ファイバーケーブルを直接引き込むための工事が必要になります。



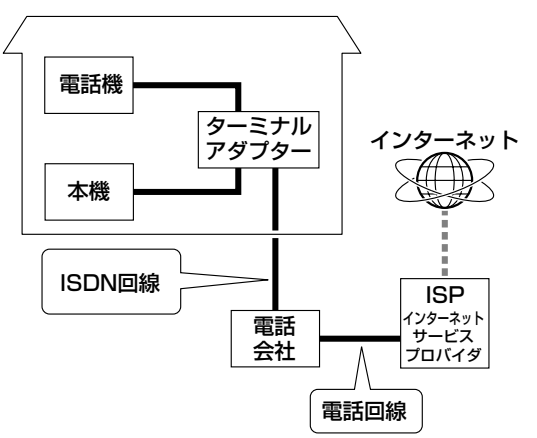
CATV

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスです。CATVインターネットサービスを提供しているCATV局への申し込みが必要です。ただし、ケーブルテレビのサービスが提供されていない地域では利用できません。



ISDN回線

NTTのデジタル回線（ISDN）を利用してインターネット接続するサービスです。
ISDN回線の申し込みと、プロバイダへの申し込みが必要です。

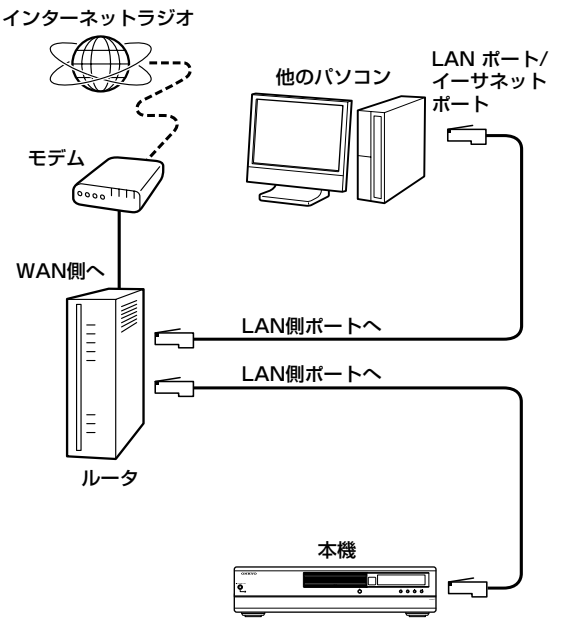


HDC-7(30-38)(SN29344221) 30 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

ネットワーク（LAN）に接続する

ご家庭で複数のパソコンをお使いになっていて、パソコン同士で写真などのデータやプリンタを共有したり、同時にインターネットを楽しんだりするときに便利なのが、「ネットワーク（LAN）」です。

付属のLANケーブルを使って、ルータを経由してネットワークに接続します。

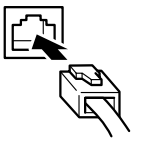


ネットワーク設定について

ブロードバンドルータ（DHCP機能）をお使いの場合は、自動的にネットワーク設定が行われるので、設定する必要はありません。

LANケーブルの接続のしかた

1.本機の電源を切ります。
2.本機のETHERNETポートに付属のLANケーブルを接続してください。
　端子の向きを間違えないように接続してください。



LANケーブルを取り外すときは

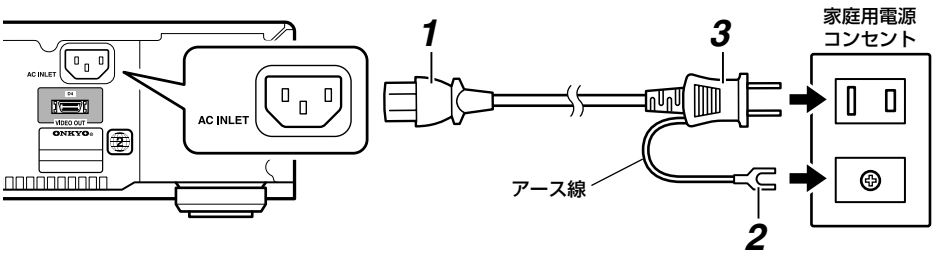
1.本機の電源を切ります。
2.LANケーブルのコネクターのツメを押しながらまっすぐ引き抜いてください。
　無理に引き抜くとツメが折れることがありますので、ご注意ください。

HDC-7(30-38)(SN29344221)　31　06.4.13, 3:01 PM
ブラック

電源を入れる

電源コードを接続する

- 電源コードを接続する前に、すべての接続が完了していることを確認してください。
- 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて他の機器の動作に影響することがあります。繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。この電源コードは本機専用です。



1 付属の電源コードを本機のAC INLET（インレット）に接続する

2 アース線を接続する

アース線の端子には保護キャップがついています。
接続するときに取り外してください。

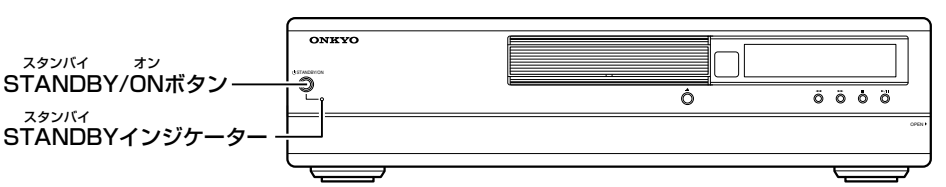
3 電源プラグを家庭用電源コンセントに接続する

前面パネルのSTANDBY（スタンバイ）Yインジケーターがオレンジ色に点灯します。

ご注意

- **アース線を接続するときは、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線をはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**
- **家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態で、AC INLETから電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。**

電源を入れる



1

テレビやモニターの電源を入れ、本体のSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押す

電源が入り、STANDBYインジケーターが消灯します。

お買い上げ後、初めて電源を入れたときに、Windows®のセットアップ画面が立ち上がります。
次ページをご覧になってコンピューターの基本セットアップを行ってください。

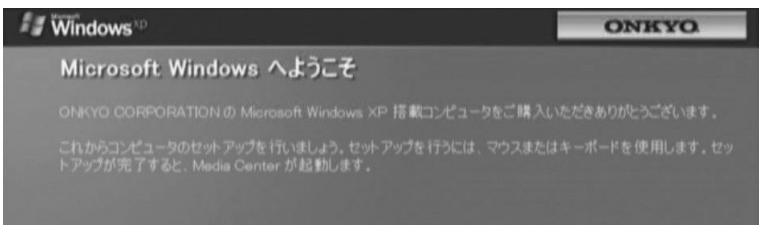
ご注意

必ず先にテレビやモニターの電源を入れてください。映像が出ない場合があります。

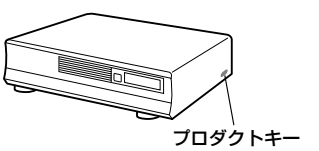
HDC-7(30-38)(SN29344221)　32　06.4.14, 1:11 PM
ブラック

Windows®の初期設定をする

初めて本機の電源を入れたときにWindows®のセットアップ画面が表示されます。
画面の案内に従って日付や時間など、コンピューターの基本セットアップを行ってください。

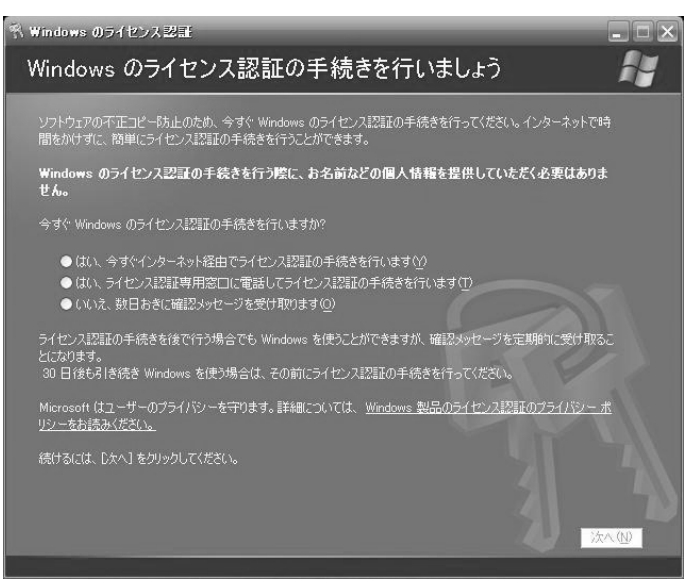


途中、プロダクト キーを入力する必要があります。本機側面に添付してあるWindows®のCOA（Certificate of Authenticity）ラベルに表示されているプロダクト キー（Product Key）を入力してください。プロダクト キーは、25文字の英数字で、5文字ごとにハイフンで区切られた形式になっています。



重要 **ライセンス認証の手続きについて**

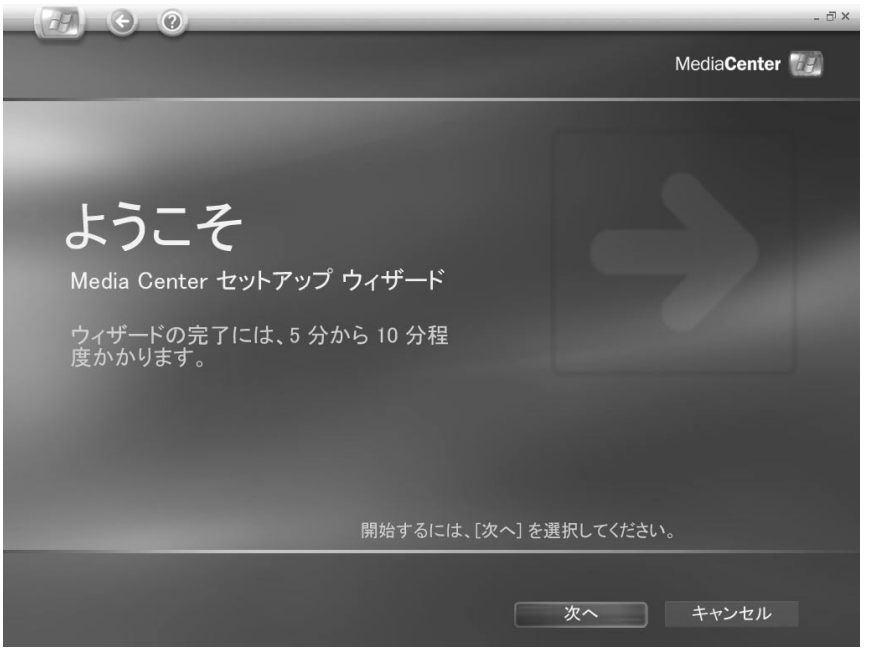
最初に本機を立ち上げてから30日以内にWindows®のライセンス認証の手続きを行う必要があります。Windows®のライセンス認証画面はタスクバーに表示される鍵のアイコンをクリックすると開くことができます。または、デスクトップの「スタート」をクリックして、「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「oobe/msoobe /a」と入力して開くこともできます。



HDC-7(30-38)(SN29344221) 33 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

Media Centerの初期設定をする

Windows®のセットアップが終了し、本機が起動すると、Media Centerセットアップウィザード画面が立ち上がります。画面の案内に従って設定を行ってください。



設定が終わるとMedia Centerのスタートメニューが表示されます。
Media Centerの操作方法については以下をご覧ください。

- 付属の取扱説明書 Media Center編
- Windows® XP Media Center Editioinのヘルプ画面
  キーボードのF1キーを押すか、スタートメニューから「設定」をクリックし、「ヘルプ」をクリックすると立ち上がります。
- Microsoft® Media Centerのウェブサイト
  http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/mediacenter/（2006年4月現在）

スタートメニュー画面

HDC-7(30-38)(SN29344221) 34 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

DVD再生のための初期設定をする

本機でDVDを再生する前に、CyberLink PowerDVDのCDキーを入力する必要があります。
CDキーは、本書の裏表紙に貼ってあります。
CDキー入力後、最初にPowerDVDを起動したときに、PowerDVDはインターネットに自動的に接続して、DVDオーディオの再生を可能にするためのCPPMキーコードを取得します。
必ず設定をする前にインターネットの接続を可能にしておいてください。

CPPMキーコードについて

CPPMとはContent Protection for Prerecorded Mediaの略で。DVDオーディオに使われているコピーガード技術です。デジタル記録されたコンテンツはそのままコピーされないように暗号化されていますので、CPPMキーコードを入手していないとDVDオーディオの再生はできません。

1

Media Center（メディア センター）スタートメニューの「DVD Audio（オーディオ）」をクリックする

PowerDVDが起動し、CDキーの入力画面が表示されます。
PowerDVDはデスクトップからも立ち上げることができます。
「スタート」をクリックして「すべてのプログラム」の中から「PowerDVD」をクリックしてください。

2

キーボードやリモコンを使ってCDキーを入力する

CDキーは、本書の裏表紙に貼ってあります。
CDキーの入力は初回のみ必要です。

3

「アクティブにする」をクリックする

4

もう1度手順*1* をくり返し、PowerDVDを起動してCPPMキーコードを取得する

PowerDVDは起動すると共に、自動的にインターネットに接続してCPPMキーコードを取得します。

HDC-7(30-38)(SN29344221) 35 06.4.13, 3:01 PM
ブラック

音声出力の設定をする（デジタル接続時）

AVセンターとデジタル（光/同軸）接続してドルビーデジタルやDTSの音声をお楽しみになるときは、デジタル音声出力の設定をする必要があります。デジタル音声出力の設定は再生ソフト（Media Center、PowerDVD）ごとに設定がありますので、それぞれの設定を行ってください。

Media Centerの設定

1

Media Centerスタートメニューの「設定」をクリックする

設定のカテゴリーが表示されます。

2

「DVD」をクリックして、「オーディオ」をクリックする

DVDのオーディオ設定画面が表示されます。

3

「SPDIFを使用する」の右側にある矢印をクリックして設定を「ON」に変更する

ONに設定すると、ドルビーデジタルやDTSのデジタル音声を出力することができます。
ただし、このときはドルビーデジタルやDTS信号が入力したときにアナログ音声は出力されません。
OFFに設定すると、ドルビーデジタルやDTSの信号をPCMに変換して出力します。
ドルビーデジタルやDTS信号に対応していないテレビなどと接続するときはOFFに設定してください。

PowerDVDの設定

1

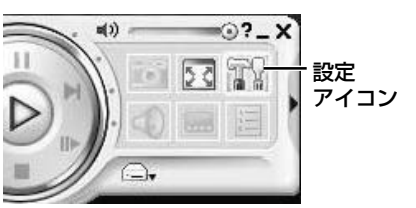
Media Centerスタートメニューの「DVD Audio」をクリックする

PowerDVDが起動します。

2

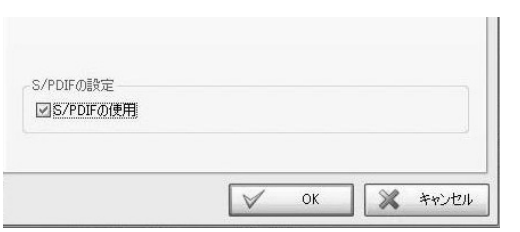
設定アイコンをクリックして設定画面を表示させ、「音声出力」タブをクリックする

Audioの設定画面が表示されます。



3

「S/PDIFの使用」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる



チェックボックスにチェックを入れると、ドルビーデジタルやDTSのデジタル音声を出力することができます。
ただし、ドルビーデジタルやDTS信号が入力したときにアナログ音声は出力されません。
チェックをはずすと、ドルビーデジタルやDTSの信号をPCMに変換して出力します。
ドルビーデジタルやDTS信号に対応していないテレビなどと接続するときはチェックをはずしてください。

ご注意　DTS-CDを再生するときは、必ずチェックをはずして無効にしておいてください。

HDC-7(30-38)(SN29344221)　36　06.4.14, 1:11 PM
ブラック

音声出力の設定をする（5.1チャンネル接続時）

AVセンターと5.1チャンネル接続したときは、SigmaTel Audioの設定を変更する必要があります。

1

スタートボタンをクリックしてコントロールパネルを開き、「サウンド、音声およびオーディオデバイス」をクリックする

2

SigmaTel Audioをクリックする

SigmaTel Audioの設定画面が表示されます。

3

Dolbyタブをクリックし、左上の「設定」を「5.1スピーカー」にする

4

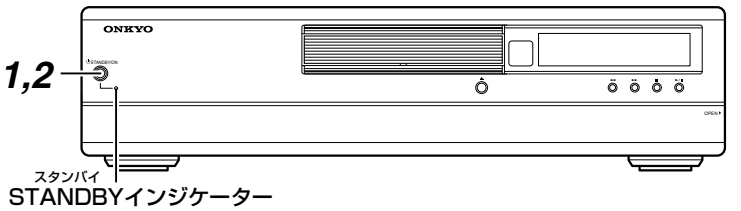
右上の をクリックして画面を閉じる

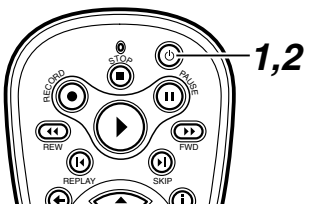
HDC-7(30-38)(SN29344221) 37 06.4.13, 3:02 PM
ブラック

スタンバイにする/電源を切る

本機をスタンバイにする

本機はスタンバイ状態でも、テレビの録画予約などの機能を使うことができます。





1

本体のSTANDBY/ONボタンを押すか、リモコンのスタンバイ/オンボタンを押す

本機のSTANDBYインジケーターが赤色に点灯して、スタンバイ状態になります。
このとき、表示部は点灯したままになります。

2

再び電源をオンにするには、本体のSTANDBY/ONボタンを押すか、リモコンのスタンバイ/オンボタンを押す

本機のSTANDBYインジケーターが消灯して電源が入ります。

本機の電源を入れてから、しばらくの間使用していないと自動的にスタンバイ状態になります。
電源をオンにするには、本体のSTANDBY/ONボタンを押すか、リモコンのスタンバイ/オンボタンを押してください。

ご注意

- この方法でスタンバイ状態にすると、電源がオンのときと同様に待機時電力がかかります。
  待機時電力を抑えてスタンバイ状態にするためには、デスクトップの「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリックしてから、「スタンバイ」をクリックします。
- スタンバイ中は電源プラグを抜かないでください。必ず下の手順で電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

電源を切る

1

デスクトップの「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリックしてから、「電源を切る」をクリックする

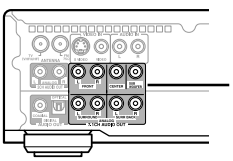
本機のSTANDBYインジケーターがオレンジ色に点灯して、電源がオフになります。

HDC-7(30-38)(SN29344221) 38 06.4.13, 3:02 PM
ブラック

音声出力の設定をする（応用編 SigmaTel Audio）

マルチチャンネルの音声出力の設定をする

本機のマルチチャンネル音声出力端子とAVセンターを接続したとき、SigmaTel Audioでスピーカーの設定を行うことができます。設定された内容は、本機の7.1CH AUDIO OUT端子からの出力音声に反映されます。AVセンターにスピーカーの設定がない場合などに、この設定をしてください。



■SigmaTel Audioを起動する

1 **スタートボタンをクリックしてコントロールパネルを開き、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックする**

2 **SigmaTel Audioをクリックする**

SigmaTel Audioが起動して、設定画面が表示されます。

■スピーカーの設定をする

1 **「スピーカーテスト」タブをクリックする**

使用するスピーカーの設定をする画面が表示されます。

2 **接続しているスピーカーに合わせて「スピーカーの設定」を選択する**

7.1のスピーカー：
AVセンターと7.1チャンネル接続しているときに選んでください。

5.1のスピーカー：
AVセンターと5.1チャンネル接続しているときに選んでください。

ステレオスピーカー：
AVセンターと本機の7.1CH AUDIO OUT FRONT L/R端子を使って2チャンネル接続しているときに選んでください。（2CH AUDIO OUT端子を使って2チャンネル接続したときはSigmaTel Audioの設定は働きません。）

ヘッドフォン：
ドルビーヘッドフォンを楽しみたいときに選んでください。

3 **サブウーファーのイラストを右クリックして、サブウーファーのオン/オフ、遅延、クロスオーバー周波数を設定する**

オン/オフ：
サブウーファーを接続しているときはオン、接続していないときはオフを選んでください。

遅延：
フロントスピーカーから視聴位置までの距離を基準として設定します。
基準より近く設置している場合は＋方向へ調節し、遠く設置している場合は－方向へ調節してください。

クロスオーバー周波数：
サブウーファーのクロスオーバー周波数を設定します。

4 **各スピーカーのイラストを右クリックして、スピーカーのサイズ、遅延を設定する**

スピーカーのサイズ：
目安としてスピーカーの口径が16cm以上のときは「大」、未満の場合は「小」を選択してください。

遅延：
フロントスピーカーから視聴位置までの距離を基準として設定します。
基準より近く設置している場合は＋方向へ調節し、遠く設置している場合は－方向へ調節してください。

5 **「セットアップの開始」をクリックする**

各スピーカーからテスト音が出力されます。
それぞれのスピーカーから音が出ているか確認してください。音の出ないスピーカーがある場合は接続が正しくされているか確認してください。

HDC-7(39-E)(SN29344295) 39 06.4.13, 3:02 PM
ブラック

音声出力の設定をする（応用編　SigmaTel Audio）

■スピーカーレベルの設定

1

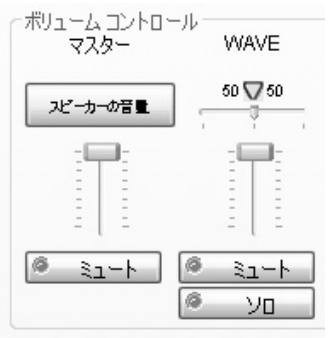
「レベル」タブをクリックする

スピーカーのレベルを設定する画面が表示されます。

2

「マスター」ボリュームを調節する

マルチチャンネル出力の音量を調節します。
リモコンのVOL+/−ボタンと連動します。



3

「スピーカーの音量」をクリックして、各スピーカーの音量を調節する

左：左フロントスピーカー
右：右フロントスピーカー
中央：センター スピーカー
低周波数：サブウーファー
左後ろ：左サラウンドバックスピーカー
右後ろ：右サラウンドバックスピーカー
Aux左：左サラウンドスピーカー
Aux右：右サラウンドスピーカー

■低音の設定

1

「詳細」タブをクリックする

2

スピーカーの設定で、サブウーファーをオフに設定したときや、スピーカーのサイズを変更したときは、「バス管理」の「バスルーティングを最適化する」にチェックを入れる

3

サブウーファーを強調したいときは、「バスブースト」を調整する

ご注意

「詳細」タブの「SPDIF」設定のチェックボックスは、常にチェックを入れておいてください。チェックをはずすとデジタル音声が出力されなくなります。

音量の調節をする

SigmaTel Audioでフォーマットによる出力音量の調節をすることができます。
この設定はアナログ、デジタル全ての出力に効果があります。

1

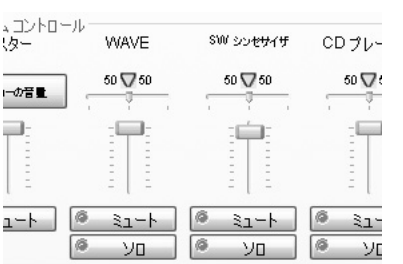
「レベル」タブをクリックする

ボリュームコントロールの設定画面が表示されます。

WAVE：
wave、mp3、wmaなど音楽ファイル再生時のボリュームを調整できます。また、本機ではCD再生時のボリュームもこちらの設定が反映されます。

SW シンセサイザ：
MIDIファイル再生時のボリュームを調整できます。

CD プレーヤー：
本機ではこの設定は使用しません。



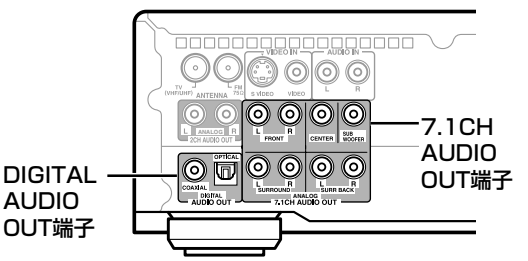
HDC-7(39-E)(SN29344295)　40　06.4.13, 3:02 PM
ブラック

ドルビーの設定をする

SigmaTel Audioでは、ドルビーのさまざまな機能を設定できます。
お買い上げ時の設定のままでも、十分ドルビーデジタルをお楽しみいただけますが、さらに微調整をしたいときは各調整機能をご利用ください。

ご注意

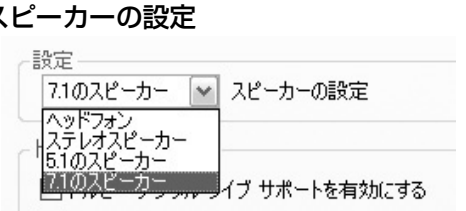
SigmaTel Audioのドルビー設定は、DIGITAL AUDIO OUT端子と7.1CH AUDIO OUT端子に効果があります。
2CH AUDIO OUT（VLSC）端子は対応していません。



「ドルビー」タブをクリックする

ドルビーの設定をする画面が表示されます。

■スピーカーの設定



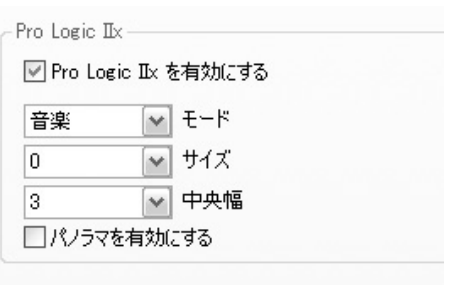
7.1CH AUDIO OUT端子を接続しているときや、ドルビーヘッドフォンを楽しみたいときにスピーカーの設定をしてください。スピーカーの設定を変更することによって、各ドルビー機能が働きます。

7.1のスピーカー：
AVセンターと7.1チャンネル接続しているときに選んでください。「Pro Logic IIxを有効にする」にチェックを入れている場合、全ての信号を7.1チャンネル再生でお楽しみいただけます。

5.1のスピーカー：
AVセンターと5.1チャンネル接続しているときに選んでください。「Pro Logic IIxを有効にする」にチェックを入れている場合、全ての信号を5.1チャンネル再生でお楽しみいただけます。

ステレオスピーカー：
AVセンターと本機の7.1CH AUDIO OUT FRONT L/R端子を使って2チャンネル接続しているときに選んでください。「スピーカーのバーチャルサポートを有効にする」にチェックを入れている場合、ドルビーバーチャルスピーカーをお楽しみいただけます。［2CH AUDIO OUT（ＶＬＳＣ）端子を使って2 チャンネル接続したときはSigmaTel Audioの設定は働きません。］

ヘッドフォン：
ドルビーヘッドフォンを楽しみたいときに選んでください。「ヘッドフォンのバーチャルサポートを有効にする」にチェックを入れている場合、ドルビーヘッドフォンをお楽しみいただけます。［2CH AUDIO OUT（VLSC）端子を使って接続したときは、ドルビーヘッドフォン機能は使用できません。］



■Pro Logic IIxの設定

1.Pro Logic IIxを有効にするときはチェックを入れる
Dolby Pro Logic IIx は、ステレオや5.1チャンネルの音楽や映画を7.1チャンネル出力する機能です。全周波数帯域の臨場感あふれるサラウンド サウンドを提供します。

2.モードを選択する
DVDなど映画を再生するときは「映画」を選択し、CDなどを再生するときは「音楽」を選択してください。

3.サイズを選択する
音場を前後に移動させることができます。「0」を中心にマイナスに設定すると後方へ、プラスに設定すると前方へ移動します。広がり感がありすぎたり、サラウンドが強すぎる場合は、音場を前方に調整するとバランスが良くなります。逆にモノラル感や音場が狭い感じの場合は、音場を後方に調整するとバランスが良くなります。

4.中央幅を選択する
センター音の広がり幅を調整することができます。
センタースピーカーと左右フロントスピーカーの配合を調整し、センターの重量感を調整します。値が大きいと左右フロントスピーカーに重量感が移動して、広がりを持たせることができます。

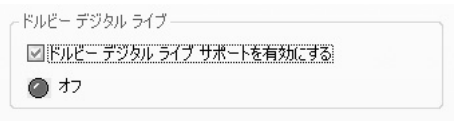
5.パノラマ機能を使うときはチェックを入れる
「パノラマ」機能は、左右フロントスピーカーからサウンドを視聴者の周りを囲むように再生して臨場感を生成します。

HDC-7(39-E)(SN29344295)　41　06.4.13, 3:02 PM
ブラック

音声出力の設定をする（応用編　SigmaTel Audio）

■ドルビーデジタルライブの設定

デジタル出力のみに効果があります。



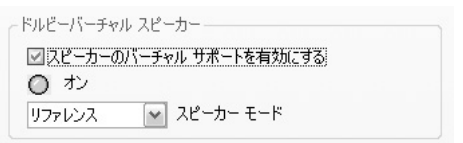
1.ドルビーデジタルライブを有効にするときはチェックを入れる

ドルビーデジタルライブは、WMA、WMVやゲームの音声信号をドルビーデジタルに変換してデジタル音声出力できる機能です。有効にするときはチェックを入れてください。

ドルビーデジタルライブを有効にしているときは、Pro Logic IIxも有効にしておいてください。

■ドルビーバーチャルスピーカーの設定

7.1CH AUDIO OUT FRONT L/R端子出力（2チャンネル）にのみ効果があります。



1.「スピーカーの設定」で「ステレオスピーカー」を選択する

2.ドルビーバーチャルスピーカーを有効にするときはチェックを入れる

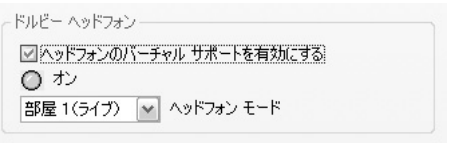
ドルビーバーチャルスピーカーは、5.1チャンネルのサラウンドサウンドを2つのスピーカーで再現する機能です。

3.スピーカーモードを選択する

「リファレンス」モードと「ワイド」モードが選択できます。

「ワイド」モードを選ぶとより広がりのあるサラウンド音声をお楽しみいただけます。

■ドルビーヘッドフォンの設定



1.「スピーカーの設定」で「ヘッドフォン」を選択する

2.ドルビーヘッドフォンを有効にするときはチェックを入れる

ドルビーヘッドフォンは、ヘッドフォンで5.1チャンネルサラウンドをお楽しみいただく機能です。

3.ヘッドフォンモードを選択する

「リファレンス」、「部屋1（ライブ）」、「部屋2（広域）」モードを選択できます。

HDC-7(39-E)(SN29344295)　42　06.4.13, 3:02 PM
ブラック

お買い上げ時の状態に戻す（システム・リカバリ）

本機には、SoftThink社のシステム・リカバリがインストールされています。
万が一、本機の動作が不安定なとき、プリインストールされているソフトウェアの動作が不安定なときや本機に接続している周辺機器が使用できないときなどで、再インストールが必要になった場合は、システム・リカバリを起動してください。

⚠重要

大切なデータは必ずバックアップしておいてください。
デジタルカメラから取り込んだ写真や電子メールなど、失っては困る大切なデータは必ず再インストールの前にバックアップしてください。

ご注意

再インストールするときは、付属のワイヤレスキーボードを使用することができませんので、USBマウスをご用意ください。

システム・リカバリの種類

システム・リカバリには以下の2種類の再インストール方法があります。

●ノン・デストラクティブ　システム・リカバリ
ご購入後にお客様が保存されたデータ（デジタルカメラの写真や、ダウンロードした音楽など）に影響を与えることなく、Windows®やプリインストールされたソフトウェアをお買い上げ時の状態に復元します。

●システム・リカバリ - クイック・フォーマット
ハードディスクの全ての内容をお買い上げ時の状態に戻します。***お客様が保存されたデータやインストールされたアプリケーションは全て削除されます。***今一度、システム・リカバリ - クイック・フォーマットをする必要があるかどうか確認してください。

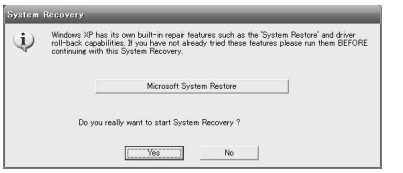
ノン・デストラクティブ・システム・リカバリをする

1 本機に周辺機器（USB機器など）が接続されている場合は、周辺機器を取り外す

USB機器の安全な取り外しかた：
タスクバーの をクリックして、表示された「安全に取り外します」をクリックします。
「安全に取り外すことができます」と表示されてからUSB機器を取り外してください。

2 USBマウスを本機に接続する

3 デスクトップの「スタート」をクリックして、「すべてのプログラム」から「System Recovery」をクリックする



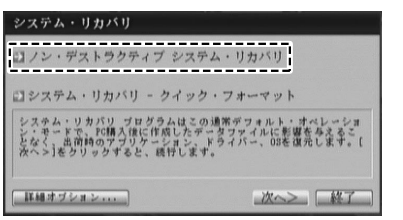
システム・リカバリのウィンドウが表示されます。

4 「Yes」をクリックする

本機がシステム・リカバリモードで再起動します。

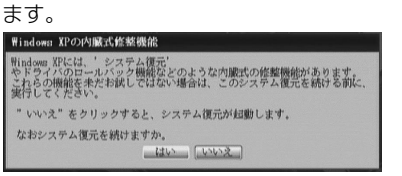
5 システム・リカバリ画面で「ノン・デストラクティブ　システム・リカバリ」をクリックし、「次へ」 をクリックする

表示されている内容をよくお読みになってください。



6 「はい」をクリックしてシステム・リカバリを開始する

システム・リカバリは約30分程度かかります。



7 システム・リカバリが終了すると、メッセージが表示されるので「再起動します」をクリックして本機を再起動させる

HDC-7(39-E)(SN29344295) 43 06.4.14, 5:29 PM
ブラック

お買い上げ時の状態に戻す（システム・リカバリ）

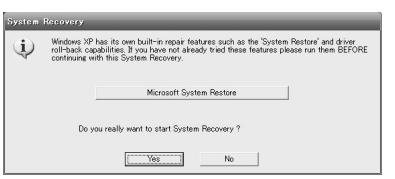
システム・リカバリ-クイック・フォーマットをする

1 **本機に周辺機器(USB機器など)が接続されている場合は、周辺機器を取り外す**

USB機器の安全な取り外しかた：
タスクバーの をクリックして、表示された「安全に取り外します」をクリックします。
「安全に取り外すことができます」と表示されてからUSB機器を取り外してください。

2 **USBマウスを本機に接続する**

3 **デスクトップの「スタート」をクリックして、「すべてのプログラム」から「System Recovery」をクリックする**



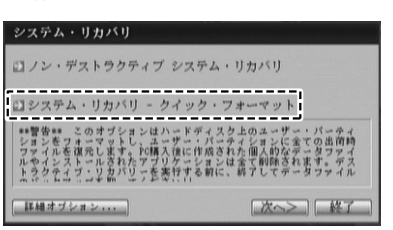
システム・リカバリのウィンドウが表示されます。

4 **「Yes」をクリックする**

本機がシステム・リカバリモードで再起動します。

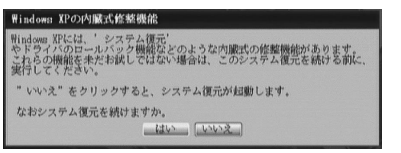
5 **システム・リカバリ画面で「システム・リカバリ - クイック・フォーマット」をクリックし、「次へ」 をクリックする**

表示されている内容をよくお読みになってください。



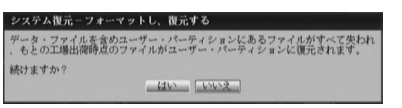
6 **「はい」をクリックする**

表示内容をよくお読みの上、操作を続ける場合は「はい」をクリックしてください。



7 **再度、確認画面が表示されるので、「はい」をクリックしてシステム・リカバリを開始する**

「はい」をクリックする前に、システム・リカバリ - クイック・フォーマットをする必要があるか、もう一度確認してください。
システム・リカバリは約30分程度かかります。



8 **システム・リカバリが終了すると、メッセージが表示されるので「再起動します」をクリックして本機を再起動させる**

HDC-7(39-E)(SN29344295) 44 06.4.14, 5:29 PM
ブラック

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- ボリュームが最小になっていませんか?
- ミューティングインジケーターが点灯している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**（20）**
- Media CenterとPowerDVDで、SPDIFの設定を有効にしているときは、ドルビーデジタルやDTS信号を再生したときにアナログ音声は出力されません。**（36）**

デジタル音声が出ない

- SigmaTel Audioのコントロールパネルの「詳細」タブで「デジタル出力を有効にする」をチェックしてください。チェックをはずすとデジタル出力されません。**（40）**
- 接続したAVセンターやテレビがドルビーデジタルやDTS信号に対応しているかご確認ください。対応していない場合、Media Centerの「設定」→「DVD」→「オーディオ」→「SPDIFを使用する」設定を「OFF」に設定してください。また、PowerDVDの「設定」→「音声出力」タブ→「S/PDIFの使用」設定のチェックをはずしてください。**（36）**
- DVDオーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。

アナログマルチチャンネル音声が正しく再生できない

- SigmaTel Audioのコントロールパネルの「スピーカーテスト」タブで「スピーカーの設定」を接続したスピーカー(5.1スピーカーまたは7.1スピーカー)に設定してください。**（39）**
- Windows®コントロールパネルの「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」→「サウンドとオーディオデバイス」→「音量」タブ→「スピーカーの設定」の「詳細設定」→「スピーカー」タブの「スピーカーの種類」は、本機には無効です。
  また、Media Centerの「設定」→「全般」→「Media Center セットアップ」→「スピーカーの設定」は、本機には無効です。マルチチャンネルスピーカーの設定は、SigmaTel Audioで行ってください。**（39）**

ご使用方法による接続端子とデジタル出力（SPDIF）設定の関係は以下の表のようになっています。
SigmaTel Audioコントロールパネルの「デジタル出力を有効にする」は必ずチェックを入れておいてください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">ご使用方法</th><th rowspan="2">接続する端子</th><th rowspan="2">Media Center/ PowerDVDのS/PDIF設定</th><th colspan="2">出力音声</th></tr>
<tr><th>デジタル出力</th><th>アナログ出力</th></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタルで簡単に接続したい</td><td>ご使用のAVセンターがドルビーデジタルやDTSのデコード機能を持っている場合</td><td rowspan="2">COAXIAL
または
OPTICAL
DIGITAL
AUDIO
OUT端子</td><td>ONにしてください</td><td>ドルビーデジタルやDTS入力時はそのまま出力、その他の入力はPCMに変換して出力</td><td>ドルビーデジタルやDTS入力時は出力せず、その他の入力はアナログ出力</td></tr>
<tr><td>ご使用のAVセンターやテレビがドルビーデジタルやDTSのデコード機能を持っていない場合</td><td rowspan="3">OFF
（お買い上げ時の設定）</td><td rowspan="3">入力ソースにかかわらず全てPCMに変換して出力</td><td rowspan="3">アナログ出力</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVDオーディオのマルチチャンネル音声を楽しみたい</td><td>7.1CH AUDIO OUT端子</td></tr>
<tr><td colspan="2">2チャンネルピュアオーディオを良い音で楽しみたい</td><td>2CH AUDIO OUT（VLSC）端子</td></tr>
</table>

雑音が入る

- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- DTS対応ディスクを再生している時にポーズやスキップなどの操作をすると、ごく短時間ノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
- DTS-CDをMedia Centerで再生しようとすると、ノイズやフリーズの原因となります。DTS-CDを再生するときは、必ずPowerDVDを起動して、S/PDIFの設定を無効にしてからディスクを挿入してください。
  （14、36、Media Center編　27）

HDC-7(39-E)(SN29344295)　45　06.4.14, 1:13 PM
ブラック

困ったときは

デジタル接続しているのに、ドルビーデジタルやDTSの信号が出力できない

- AVセンターとデジタル(光/同軸）接続してドルビーデジタルやDTSの音声をお楽しみになるときは、デジタル音声出力の設定をする必要があります。Media CenterとPowerDVDの設定を行ってください。**(36)**

音量の調節ができない

- AVセンターとデジタル接続しているときは、AVセンター側で音量を調節してください。**(28)**
- AVセンターと2CH AUDIO OUT(VLSC)端子を使ってアナログ2チャンネル音声接続しているときは、AVセンター側で音量を調節してください。**(29)**

音質に関して
電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

映像に関して

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。
- 複数のアプリケーションが立ち上がっている場合、画像が乱れることがありますが、これは故障ではありません。

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキやビデオ内蔵テレビ経由で接続した場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。**(16)**
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。また、ディスクによっては解像度が高いため画像ノイズが出る場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節してベストな状態にしてください。

映像がテレビ画面に映らない

- 本機を接続したテレビの入力設定が正しいか確認してください。
- テレビやモニターの電源を入れてから本機の電源を入れてください。**(32)**
- D端子、Sビデオ、ビデオ（コンポジット）出力端子は同時に出力することはできません。テレビやモニターは、いずれか一つの端子を使って接続してください。**(25)**
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、Windows®のスクリーンセーバー機能が働きます。この場合、リモコンの►(プレイ)ボタンを押して解除してください。
- DVI-HDMI変換ケーブルを使って接続するときは、AVセンターなどを介さず、直接テレビに接続してください。映像が正しく映らない場合があります。**(25)**

Sビデオ端子、コンポジットのアナログ形式による接続で、映像がぼやける

- DVI端子やD端子による接続と比べ、Sビデオやコンポジット端子による接続では、解像度が低くなる傾向があります。大画面テレビなどをご利用の場合は、DVI端子やD端子による接続をおすすめいたします。

テレビ映像の色がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

D端子接続をしているとき、DVDを再生したら映像が映らなくなった

- D端子接続をしているときは、Windows®デスクトップ上で右クリックをし、「グラフィックプロパティ」をクリックして、設定画面を表示させます。「ディスプレイ設定」タブをクリックして、ビデオ標準を「HDTV_480p59」または「HDTV_480i59」に設定してください。「HDTV_720p59」または「HDTV_1080i59」を選択している場合、DVD映像を表示することができません。また、「HDTV_720p50」など、最後に「59」以外の数字のある設定を選ぶと画面表示が出なくなることがありますのでご注意ください。

ディスクの再生に関して

ディスクが再生できない

- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。**(14)**
  再生できるディスクは、再生ソフト（Media Center、PowerDVD）によって異なります。例えば、DVDオーディオディスク、ビデオCDはPowerDVDでのみ再生が可能です。
- 本機はNTSCに対応していますので、PALのディスクを再生すると画像が正しく表示されません。

再生が始まるまでに時間がかかる

- DVDや曲数の多いCDの場合読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

HDC-7(39-E)(SN29344295) 46 06.4.14, 3:54 PM
ブラック

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は、電源を入れてから約1時間後に操作してください。（16）

DVDの再生に関して

DVDが正しく再生できない

- DVDを再生する前に、CyberLink PowerDVDのCDキーを入力してください。（35）
- ディスクのリージョン番号を確認してください。本機は、「2」または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。（14）

DVDオーディオの再生に関して

DVDオーディオが再生できない

- DVDオーディオはPowerDVDでのみ再生が可能です。PowerDVDを起動してからディスクを挿入してください。（Media Center編　27）
- DVDを再生する前に、CyberLink PowerDVDのCDキーを入力すると共に、CPPMキーコードを取得してください。（35）

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。
  それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

CD-R/RW、DVD±R/RWの再生に関して

ディスクを再生できない

- ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

テレビ受信に関して

テレビを見ることができない

- 本機では、搭載のテレビチューナーで受信した放送と、BS・CSケーブルテレビチューナーで受信した放送の両方を見ることはできません。Media Centerを一番初めに立ち上げたときに、セットアップウィザードでどの放送を見るか（テレビ信号の設定）を設定しておいてください。

放送に雑音が入る

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（26）
- Media Centerで、テレビ入力の設定をもう一度確認してください。（Media Center編　18）

録画できない

- ハードディスクの空き容量がない。
- Media Centerの録画設定などを見直してください。（Media Center編　23）
- Media Centerで、テレビ入力の設定をもう一度確認してください。（Media Center編　18）

FM放送に関して

放送に雑音が入る

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（27）
- アンテナの位置を変えてみてください。（27）
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- それでも電波が悪い時は市販の室外アンテナの設置をおすすめします。

リモコン/キーボードに関して

リモコン/キーボードが働かない

- 電池の極性（+、−）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（21）
- 電池をすべて新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコン/キーボードと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコン/キーボードと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体の受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

HDC-7(39-E)(SN29344295)　47　06.4.14, 3:55 PM
ブラック

困ったときは

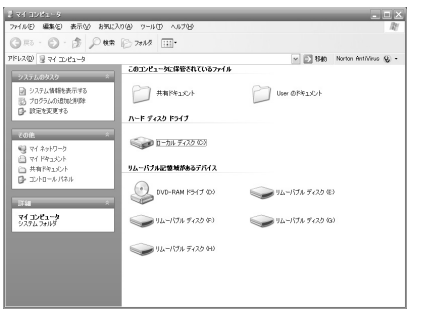
メモリーカードスロットに関して

メモリーカードを挿入する

1.カードの表面（ラベルの貼ってある面）が上向きになっていることを確認して挿入する

メモリーカードの内容を表示する

1.デスクトップの「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックして立ち上げる
2.挿入したリムーバブルディスクをダブルクリックする
リムーバブルディスクは、ドライブ名が若い順に、ＭＭＣ/ＳＤ、COMPACT FLASH I/II、SmartMedia、MS/MS proの順で割り当てられます。

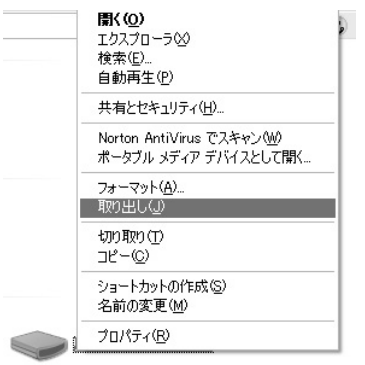


ご注意

リムーバブルディスクのドライブ名（(E:)、(F:)、(G:)、(H:）などと表示された部分）は環境によって異なります。

メモリーカードを取り出す

1.デスクトップの「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックして立ち上げる
2.挿入したリムーバブルディスクを右クリックして、「取り出し」をクリックする
3.「詳細」ウィンドウの表示が図のように変化するのを確認してからメモリーカードを取り出す



Windows®に関して

Windows®のライセンス認証について

- 本機は、最初に立ち上げてから30日以内にWindows®のライセンス認証の手続きを行う必要があります。30日以上経過するとWindows®を起動することができなくなり、認証の手続きをする画面が立ち上がりますので、画面の指示に従ってライセンス認証の手続きをしてください。 **(33)**

SigmaTel Audioに関して

設定を変えても効果がない

- SigmaTel Audioの設定は2CH AUDIO OUT(VLSC)端子を使った接続には効果がありません。
設定によっては、アナログマルチチャンネル接続をしたときにのみ効果のあるものや、デジタル接続をしたときにのみ効果のあるものがあります。 **(39~42)**

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

HDC-7(39-E)(SN29344295) 48 06.4.13, 3:03 PM
ブラック

主な仕様

■音声出力端子

サウンド機能	Intel High Definition Audio 最大192kHz, 24bit
周波数特性	0.3Hz～88kHz （2ch出力、サンプリング周波数192kHz時） 0.3Hz～20kHz（7.1ch出力）
SN比	110dB（IHF-A、2ch出力） 100dB（IHF-A、7.1ch出力）
全高調波歪率	0.003%（1kHz, 2ch出力） 0.006%（1kHz, 7.1ch出力）
音声出力電圧	2.0Vrms（2ch/7.1ch出力）
デジタル出力	SPDIF（Coaxial/Optical） 48kHz固定

■映像出力端子

映像出力	
インターフェース	S映像出力 ビデオ映像出力 D4映像出力

■音声/映像入力端子

映像入力	
インターフェース	S画像入力 ビデオ映像入力 アナログ音声入力

■地上アナログテレビチューナー

チューナー数	2基
受信チャンネル	1ch～12ch VHF 13ch～62ch UHF

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、本機でアンテナによるテレビ受信はできなくなります。

■地上デジタルチューナー

無し

■FMチューナー

受信範囲	76MHz～90MHz

■PC

OS	Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005
CPU	Intel® Pentium® D Processer 820（2.8GHz）
メインメモリ	PC2-4200 1GB
チップセット	Intel 945G Express+ICH7-DH
ハードディスク容量	SATA 400GB
CD/DVDドライブ	DVDスーパーマルチドライブ内蔵
ディスプレイ出力	DVI/VGA
解像度	800×600、1024×768、1152×864、1280×600、1280×720、1280×768、1280×960、1280×1024、1400×1050、1600×900、1600×1200、1792×1344、1856×1392、1920×1080、1920×1200、1920×1440、2048×1536
LAN	10BASE-T/100BASE-TX
USB 2.0	前面2ポート 背面2ポート
IEEE1394a	前面4pin 1ポート（DV入力） 背面6pin 2ポート
メモリーカード	スマートメディア/マルチメディアカード/SDカード/コンパクトフラッシュ Type Ⅰ・Ⅱ/マイクロドライブ/メモリースティック/メモリースティックPRO
入力装置	ワイヤレスキーボード（トラックマウス付） リモコン
その他	Ir Blaster

■総合

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電流	6.0A max
最大外形寸法	435(幅)×116(高さ)×413(奥行)mm
質量	9.8kg
許容動作温度	5℃～35℃
リカバリ方式	ハードディスクリカバリ

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

高調波抑制規格
JIS C61000-3-2適合品

HDC-7(39-E)(SN29344295) 49 06.4.13, 3:03 PM
ブラック

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　HDC-7
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
コールセンター　050-3161-9555

サポート時間：月～金曜日
（土、日祝、弊社休日を除く）
9：30～17：30

手紙でのお問い合わせ：
〒572-8540
大阪府寝屋川市日新町2番1号
オンキヨー株式会社
コールセンター宛

メールフォームによるお問い合わせ：
http://www.jp.onkyo.com/　から
オンキヨーホームページを開く
↓
▶サービス・サポートをクリック
↓
「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：

ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
をご参照ください。

HDC-7(39-E)(SN29344295)　50　06.4.13, 3:03 PM
ブラック

保証について

保証書が適用される範囲は保証期間中、製品のハードウエア部分の修理に限らせていただきます。
製品のハードウエア部分に起因しない不具合（製品にプレインストールされたまたは、添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、およびウイルス感染による不具合等）につきましては保証書の適用範囲外となります。また、製品の記憶装置（ハードディスク等）の記録媒体に保存された内容の消失、破損、変更等につきまして当社は一切責任を負いません。
お客様の責任においてデータ等のバックアップ、管理をお願いいたします。

1. 保証期間中に取扱説明書、製品添付ラベル等の注意にしたがった正常な使用状態で製品が故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点にて無料修理いたします。

2. 保証期間中に故障して無料修理をお受けになる場合には、持込修理が原則となっています。製品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点にご依頼ください。なお、保証期間中のご返送料は弊社にて負担いたします。

3. ご転居、ご贈答品等で保証書記載のお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーコールセンターにご相談ください。

4. 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
   1）保証書の提示がない場合
   2）ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）または不当な修理や分解、改造、誤接続による故障および損傷
   3）保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、文字を書きかえられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
   4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5）有寿命部品や消耗品（各部ゴム、電池、レコード針、キャリングケース等）の交換
   6）接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して製品に生じた故障および損傷
   7）お買い上げ後の輸送や移動または落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷
   8）お客様が設定したパスワード等の忘却により、メインボード、本体カバー、ハードディスク等その他の部品の交換
   9）お客様のご要望による出張修理をおこなう場合の修理料金、セットアップ料金
   10）一般家庭用以外（業務用の使用、車両・船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   11）製品の故障原因が製品以外の他社製品にある場合
   12）ソフトウェアの再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合

5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

6. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

7. 製品の故障その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

※ お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※ 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店またはオンキヨーコールセンターにお問い合わせください。

HDC-7(39-E)(SN29344295) 51 06.4.13, 3:03 PM
ブラック

PowerDVD CD キー

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30～17：30
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

Printed in Japan
G0604-1

SN 29344221

(C) Copyright 2006 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.

29344221